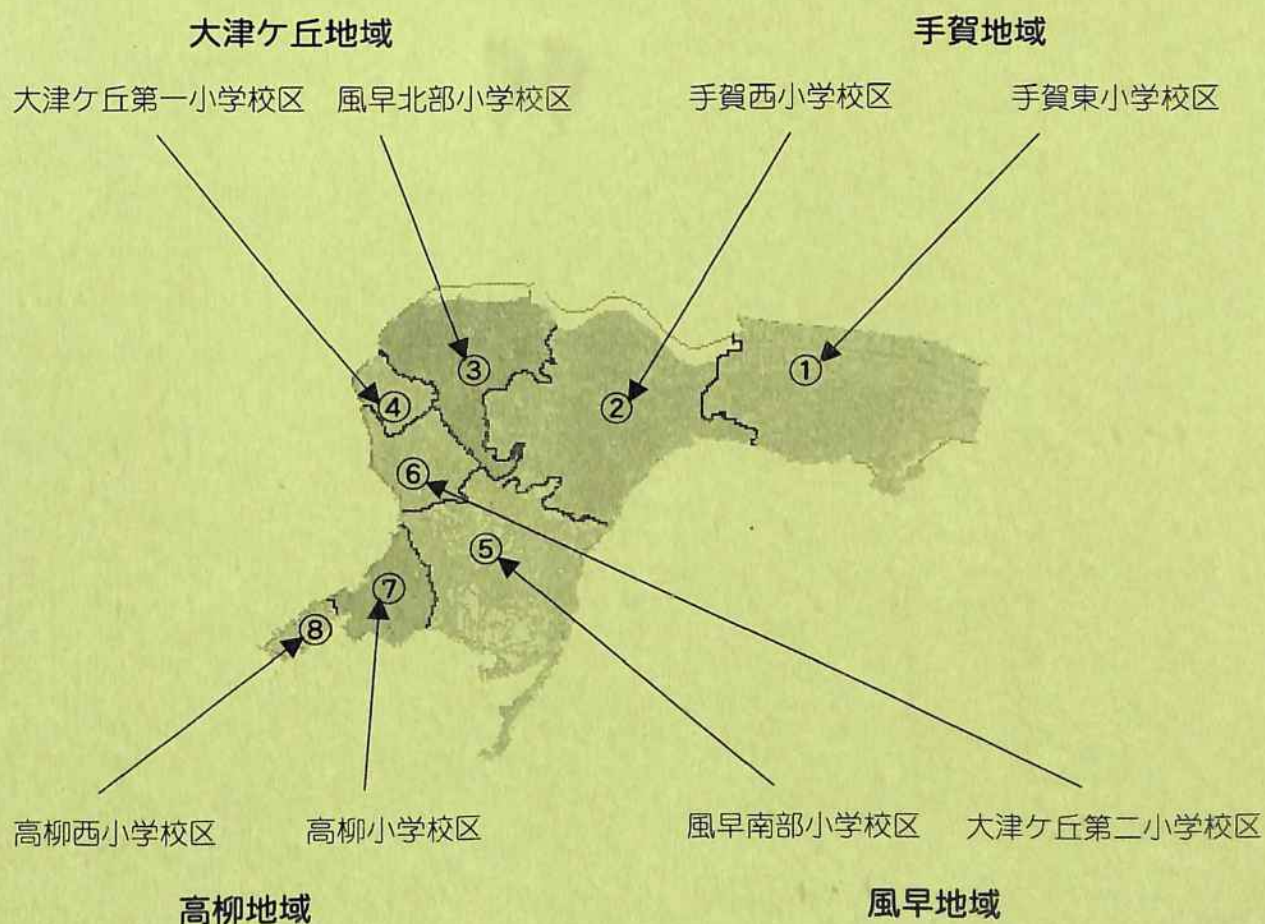


住民による人づくり・まちづくりのための

沼南町地域診断カルテづくり報告書



柏市立図書館

平成17年3月

沼南町・地域診断カルテづくり参加者

町長あいさつ

平成 13 年度から 3 ヶ年計画で実施された「地域診断カルテづくり・行動計画づくり」は、町内を 4 地域に分けて、各地域で生活している住民の皆様が調査を行い、地域の良いところや、改善したいところなどの意見を自由に出し合い、発表したものです。

この冊子は、各地域での住民の皆様の声を 1 冊にまとめたものであり、今後のまちづくりを行っていくうえで、必ずや役に立つものと確信しております。

平成 17 年 3 月

沼南町長 藤川 清

～目次～

1	地域診断カルテづくりのねらい	
	(1) 地域診断カルテづくりとは？	1 P
	(2) 地域診断カルテづくりの地域区分	2 P
	(3) 地域診断カルテづくりの方法	2 P
2	地域別 地域診断カルテ	
	(1) この章のまとめ方	5 P
2-1	手賀地域	7 P
	(1) 地域診断カルテ	9 P
	(2) 行動計画	14 P
2-2	大津ヶ丘地域	19 P
	(1) 地域診断カルテ	21 P
	(2) 行動計画	34 P
2-3	風早地域	37 P
	(1) 地域診断カルテ	39 P
	(2) 行動計画	51 P
2-4	高柳地域	55 P
	(1) 地域診断カルテ	57 P
	(2) 行動計画	71 P
	地域診断カルテ参加者名簿	75 P

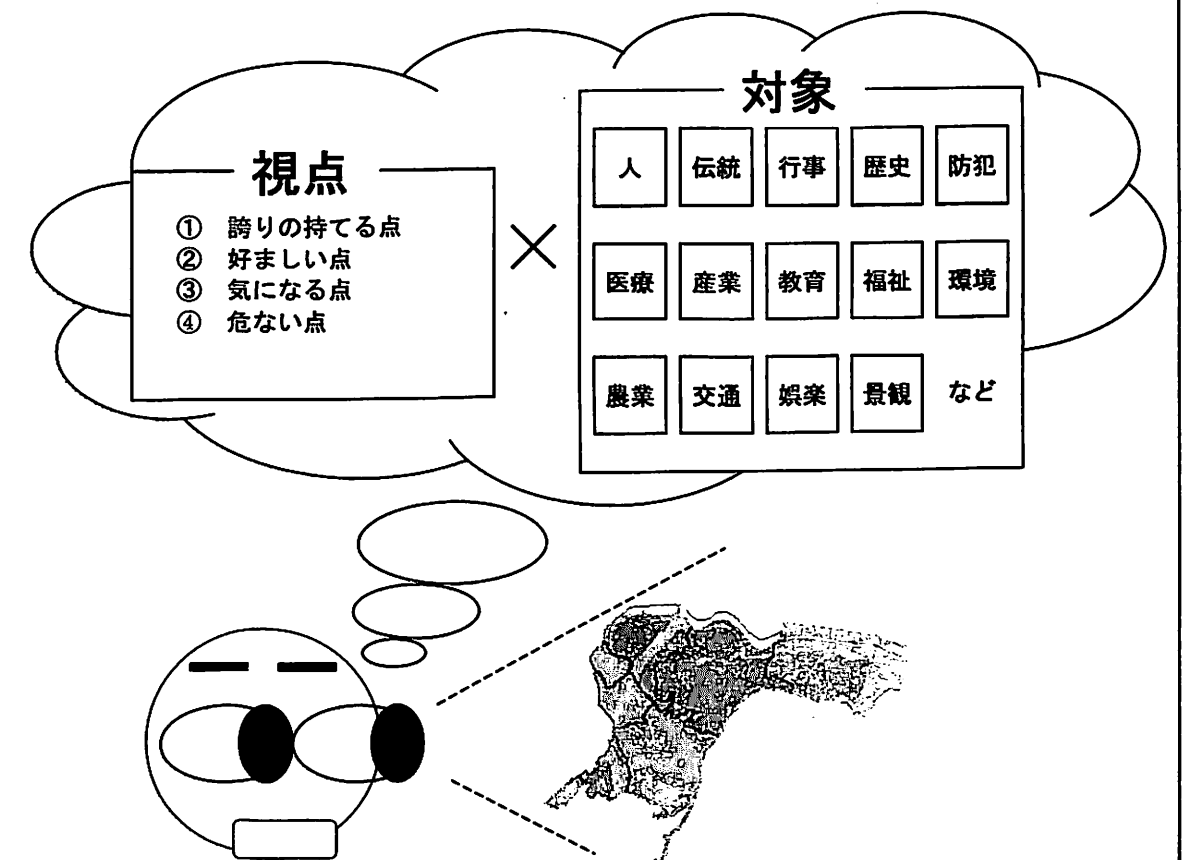
1 地域診断カルテづくりのねらい

各地域の住民で構成されたメンバーは、地域住民参加による人づくり・まちづくりを目的として、①自らの目で地域を見直し、点検し、②住民自らまちづくりに参加することにつなげるために、各地域づくりのための「地域診断カルテ」・「行動計画」を作成しました。

(1) 地域診断カルテづくりとは？

地域診断カルテ

地域を住民自らいろいろな対象・主体・分野から見直して、誇りの持てる点・気になる点などの視点から診断し、それをカルテとしてとりまとめるものです。



行動計画

地域診断カルテをもとに、住民自らが地域づくりやまちづくりに参加するために作成するものです。

視点

- ・ 住民自らできることは、どんなことだろうか？
- ・ 行政と一緒に取り組めることは、どんなことだろうか？
- ・ 行政にお願いしなければならないことは、どんなことだろうか？

※主にこの地域診断カルテでは、住民自らできることを中心に考えました。

大津ヶ丘地域①手賀地域(手賀中学校区)

(③風早北部小学校区 ①手賀東小学校区 ②手賀西小学校区)

大津ヶ丘地域の人口は14,579人で、町全体の人口の約1割にすぎません。また、面積は町全体の5割強を占めています。高齢化率は2割を超えています。大津ヶ丘地域は、大津ヶ丘地区全域が市街化調整区域に属しており、水面や緑地などの自然環境と、水田や畑などの農地の広がりの中に、集落が点在する田園環境を有しています。

のべ参加人数：156人（風早地域と合同）
ワークショップの概要：（平成13年3月～平成14年6月）

第1回	本調査の趣旨説明	第1回	本調査の趣旨説明今後の進め方について
第2回	基礎的なまちづくり情報の学習会	第2回	手賀地区の散策
第3回	地区探検会①	第3回	日頃考えていること・感じていることを共有
第4回	地区探検会②	第4回	日頃考えていること・感じていることを共有
第5回	地区探検会③	第5回	地図に落とす作業
第6回	地区探検会④	第6回	今までの提案に順位付け
第7回	地域診断カルテづくり①	第7回	コアメンバー会議
第8回	地域診断カルテづくり②	第8回	区長さんとの話し合い
第9回	行動計画づくり①	第9回	最終的なまとめ
	発表会準備		発表会準備
	発表会		発表会

高柳地域(高柳小学校区)

(⑤風早南部小学校区 ⑥大津ヶ丘第二小学校区)

高柳地域の人口は14,235人で、町全体の人口の約3割にあたり、面積では町全体の2割強を占めています。高柳地域は、高柳小学校区と風早南部小学校区から構成されています。大津ヶ丘第二小学校区には社寺や公共施設などがあり、北部には工業団地もあります。風早南部小学校区には田畑などの田園風景が広がっており、南部には自衛隊の基地があります。

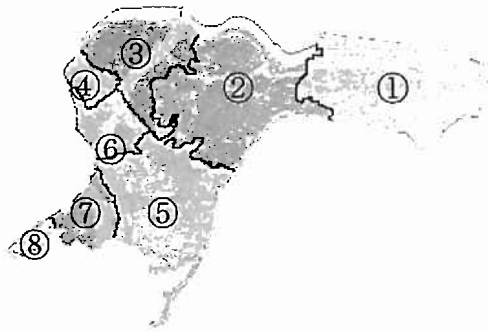
のべ参加人数：156人（大津ヶ丘地域と合同）
ワークショップの概要：（平成14年8月～平成15年6月）

第1回	本調査の趣旨説明	第1回	本調査の趣旨説明
第2回	基礎的なまちづくり情報の学習会	第2回	基礎的なまちづくり情報の学習会
第3回	地区探検会①	第3回	地区探検会①のまとめ
第4回	地区探検会②	第4回	地区探検会②のまとめ
第5回	地域診断カルテづくり①	第5回	地域診断カルテづくり①
第6回	地域診断カルテづくり②	第6回	地域診断カルテづくり②
第7回	行動計画づくり①	第7回	行動計画づくり①
第8回	行動計画づくり②	第8回	行動計画づくり②
第9回	行動計画づくり③	第9回	行動計画づくり③
	発表会準備		発表会準備
	発表会		発表会

(2) 地域診断カルテづくりの地域区分

沼南町を3年間に渡り4地域を対象にして、地域診断カルテづくりを実施しました。

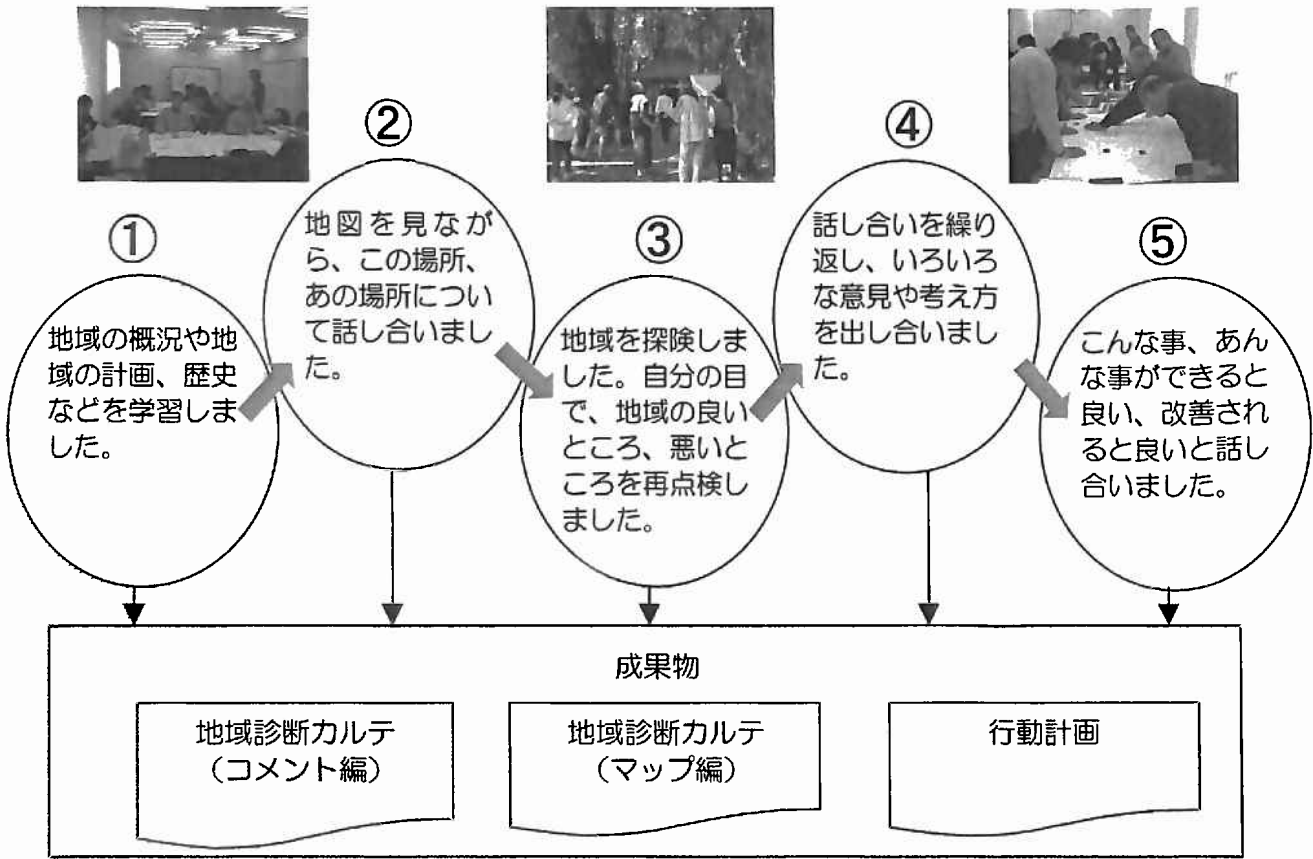
年度	地域	小学校区
13年度	手賀地域 (手賀中学校区)	①手賀東小学校区 ②手賀西小学校区
14年度	大津ヶ丘地域 (大津ヶ丘中学校区)	③風早北部小学校区 ④大津ヶ丘第一小学校区
	風早地域 (風早中学校区)	⑤風早南部小学校区 ⑥大津ヶ丘第二小学校区
15年度	高柳地域 (高柳中学校区)	⑦高柳小学校区 ⑧高柳西小学校区



なお、各地域の概要は（図1-3-1 地域の概況と診断カルテづくりの概要）のとおりです。

(3) 地域診断カルテづくりの方法

地域の住民を中心にメンバーを募り、下記のようにワークショップ（※1）を行いました。



※1：ワークショップ

もともとは「作業場」「工房」の意味。まちづくりなどの場で、参加者がお互いの意見を尊重しあいながら合意形成を図るために話し合いや作業を行う手法です。

大津ヶ丘地域(大津ヶ丘中学校区)

(③風早北部小学校区 ④大津ヶ丘第一小学校区)

大津ヶ丘地域の人口は14,966人で、町全体の人口の3分の1にあたります。また、面積は町全体の25%を占めています。

大津ヶ丘地域は、大津ヶ丘第一小学校区と風早北部小学校区から構成されていますが、大津ヶ丘第一小学校区には計画的に造成された団地などが多く、風早北部小学校区は農地や緑地などの田園環境と大学や福祉施設などが点在しています。

のべ参加人数：156人（風早地域と合同）

ワークショップの概要：（平成14年8月～平成15年6月）

第1回	本調査の趣旨説明
第2回	基礎的なまちづくり情報の学習会
	地区探検会①
第3回	地区探検会①のまとめ
	地区探検会②
第4回	地区探検会②のまとめ
第5回	地域診断カルテづくり①
第6回	地域診断カルテづくり②
第7回	行動計画づくり①
第8回	行動計画づくり②
第9回	行動計画づくり③
	発表会準備
	発表会

高柳地域(高柳中学校区)

(⑦高柳小学校区 ⑧高柳西小学校区)

高柳地域の人口は14,235人で、町全体の人口の約3分の1にあたります。また、面積は町全体の約5%を占め、その9割以上が市街化区域となっています。

高柳地域は、高柳小学校区と高柳西小学校区から構成されていますが、高柳小学校区には、沼南町唯一の鉄道駅（高柳駅）があり、高柳西小学校区は計画的に整備された住宅地となっています。

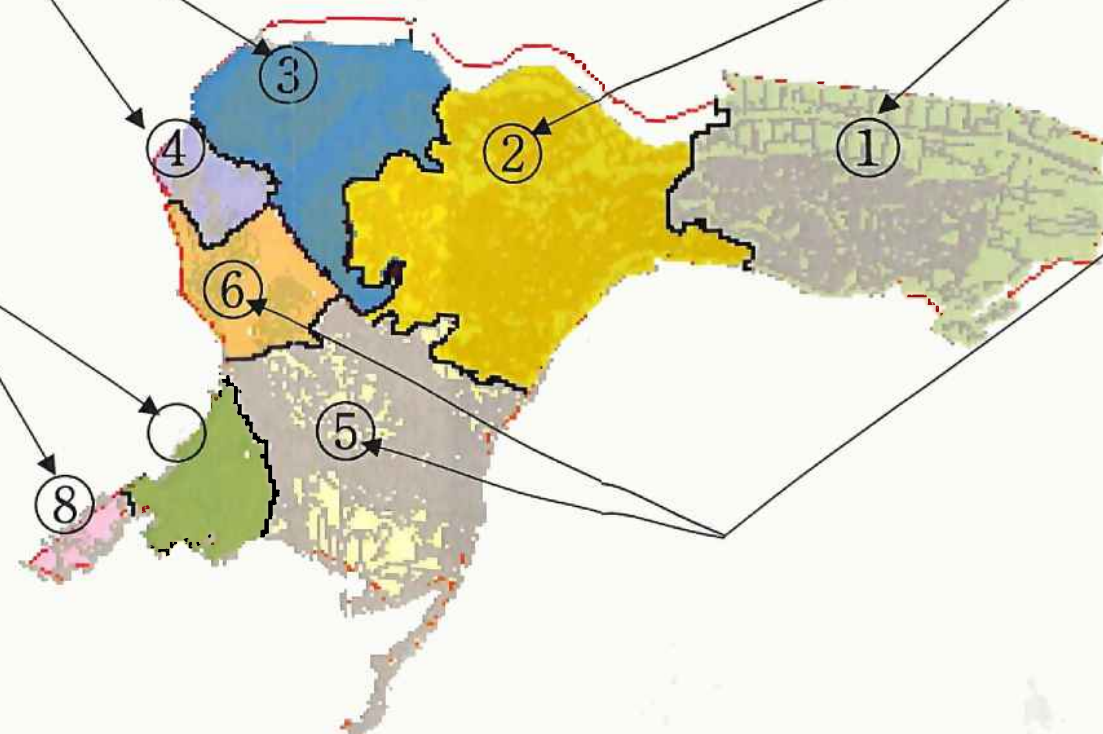
のべ参加人数：104人

ワークショップの概要：（平成15年8月～平成16年7月）

第1回	本調査の趣旨説明
第2回	基礎的なまちづくり情報の学習会
	地区探検会①
第3回	地区探検会①のまとめ
	地区探検会②
第4回	地区探検会②のまとめ
第5回	地域診断カルテづくり
第6回	地域診断カルテづくり・行動計画づくり
第7回	行動計画づくり・地図にまとめる作業
第8回	行動計画づくり・地図にまとめる作業
	発表会準備
	発表会

地域の概況と 地域診断カルテづくりの概要

地域	人口 (2004年10月)	面積	市街化区域の割合	65歳以上の 人口比率(2004年)
手賀地域	4,579人 (9.78%)	2137.3ha (50.9%)	1.7%	22.47%
大津ヶ丘地域	14,966人 (31.98%)	1045.6ha (24.9%)	24.3%	14.51%
風早地域	13,028人 (27.83%)	789.4ha (18.8%)	21.7%	13.23%
高柳地域	14,235人 (30.41%)	226.7ha (5.4%)	92.4%	11.81%
計	46,808人	4199.0ha		



手賀地域(手賀中学校区)

(①手賀東小学校区 ②手賀西小学校区)

手賀地区の人口は約4,579人で、町全体の人口の約1割にすぎませんが、面積では町全体の5割強を占めています。高齢化率は2割を越えています。

地区全域が市街化調整区域に属しており、水面や緑地などの自然環境と、水田や畑などの農地の広がりの中に、集落が点在する田園環境を有しています。

のべ参加人数：110人

ワークショップの概要：（平成13年3月～平成14年6月）

第1回	本調査の趣旨説明今後の進め方について
第2回	手賀地区の散策
第3回	日頃考えていること・感じていることを共有
第4回	日頃考えていること・感じていることを共有
第5回	地図に落とす作業
第6回	今までの提案に順位付け
第7回	コアメンバー会議
第8回	区長さんとの話し合い
第9回	最終的なまとめ
	発表会準備
	発表会

風早地域(風早中学校区)

(⑤風早南部小学校区 ⑥大津ヶ丘第二小学校区)

風早地域の人口は13,028人で、町全体の人口の約3割にあたり、面積では町全体の2割強を占めています。

風早地域は、大津ヶ丘第二小学校区と風早南部小学校区から構成されています。大津ヶ丘第二小学校区には社寺や公共施設などが多く、北部には工業団地もあります。風早南部小学校区には田畑などの田園風景が広がっており、南部には自衛隊の基地があります。

のべ参加人数：156人（大津ヶ丘地域と合同）

ワークショップの概要：（平成14年8月～平成15年6月）

第1回	本調査の趣旨説明
第2回	基礎的なまちづくり情報の学習会
	地区探検会①
第3回	地区探検会①のまとめ
	地区探検会②
第4回	地区探検会②のまとめ
第5回	地域診断カルテづくり①
第6回	地域診断カルテづくり②
第7回	行動計画づくり①
第8回	行動計画づくり②
第9回	行動計画づくり③
	発表会準備
	発表会

2 地域別 地域診断カルテ

(1) この章のまとめ方

<地域診断カルテ>

地域診断カルテは、前述したように、参加者のワークショップ（共同作業）を積み重ねるなかで進められました。まず「地域の現状と課題」を、次の2つの観点から浮き彫りにしています。

- ①良いところ（保全・活用・強調したいところ・モノ・コトなど）
- ②悪いところ（改善・除去したいところ・モノ・コトなど）

その結果は、次の3つの資料に整理されています。

(1) 地域診断カルテ

- ①主な現状と課題
- ②特定の場所に係わる現状と課題「地域診断カルテ（マップ編）」
- ③分野別にみた現状と課題「地域診断カルテ（コメント編）」

<行動計画>

これら「カルテ」をもとに、今後、住んで良いまちにするために、どのような行動が求められるかを話し合いました。まず概ね、次の4つの観点から、要望や提案を出し合いました。

- ①行政に要請すること
- ②行政と協働して取り組むこと
- ③住民が主体的に取り組むこと
- ④その他関係機関や団体の協力を得て取り組むこと

この「要望や提案」をふまえ、住んで良いまちにするために、住民自身がどう行動すれば良いかを話し合いました。その結果は、次の資料にまとめられています。

(2) 行動計画

- ①地域の要望や提案
- ②行動計画（住民主体でこんなことから取り組んでみよう）

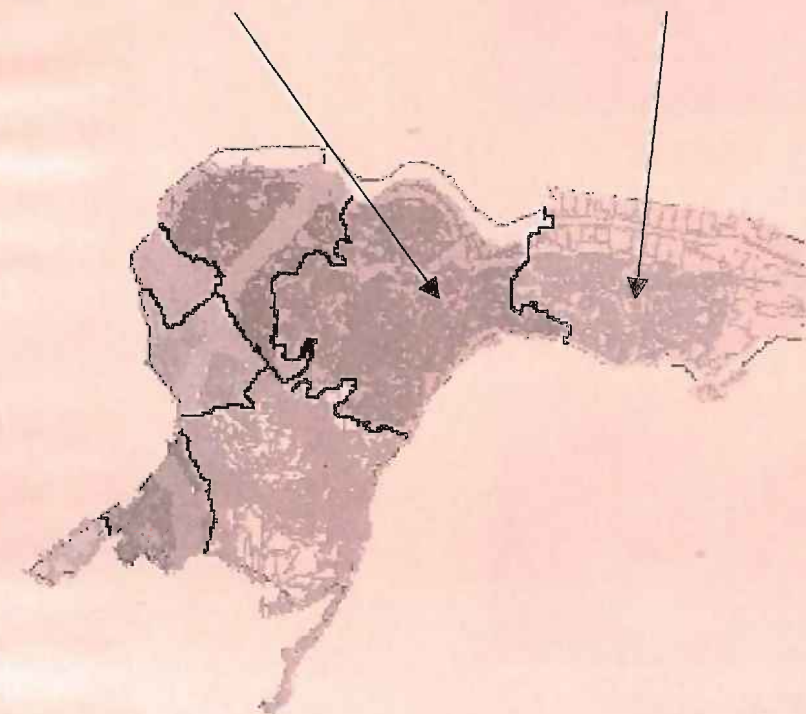
なお、各地域では、この作業手順を基本としながらも、とりまとめ方については、各グループの自主的な判断に委ねられた関係で、必ずしも統一した型とはなっていません。また、参加者の居住地や関心領域などに片寄りがあり、地域全体をカバーしたり、広範囲な分野を総合的に扱ってはいないこともあわせてお断りしておきます。

2-1 手賀地域

平成13年度実施事業

手賀西小学校区

手賀東小学校区



(1) 手賀地域診断カルテ

<手賀東小学校区・手賀西小学校区>

ワークショップにより明らかになった手賀地域における「主な現状と課題」は、次のとおりです。

①地域全体



- ・まちの自慢を掘り起こし、あるいは育てて、交流の種として活用していきたい。

③歴史文化



- ・手賀地域の誇りは、連綿と受け継がれてきた伝統的な祭事の中で培われてきた絆（コミュニティ）にあることを再認識したい。その意味で、ふるさとの歴史文化を守り育てていきたい。また、このこととも関連して地区のお年寄りの知識・知恵・技を学び、活かしていきたい。



烏比しゃ（おびしゃ）

⑤地場産業（農業・商工業）



- ・手賀地域の暮らしの基盤である農業の活性化を図りたい。それを基本に、土地の有効利用を促すとともに、農産物の消費者である都市部の住民との交流の場をつくっていくことも考えたい。

②自然環境



- ・豊かな自然環境を守り育てていきたい。またそのためにもゴミや水質などの問題に取り組み、環境にやさしいまちづくりを進めたい。



手賀沼

④交通



- ・何よりも暮らしの安全や利便を確保したい。とりわけ、子ども達の通学の安全を確保したい。



歩道のない通学路

⑥コミュニティ



- ・住民のまちづくりへの関心を高め、明日のまちづくりを担う人づくりやネットワークづくりに取り組みたい。

手賀地域の現状と課題の内、特定の場所に係わる現状と課題のコメントを地図上に記載したものが（図2-1-1）の「地域診断カルテ（マップ編）」です。また、これらを含めコメントを分野別に整理したものが（表2-1-1）の「地域診断カルテ（コメント編）」です。

手賀地



手賀地域 地域診断カルテ（マップ編）

平成14年3月31日現在



表2-1-1 手賀地域の地域診断カルテ（コメント編）

凡例 ◎：良いところ（保全・活用・強調したい） ●：悪いところ（改善・除去したい）

<地区全体>

- ◎地区に対する誇りが強い。
- ◎手賀地区は豊かである。
- ◎地域の絆が強く、地区にまとまりがある。
- 若者が定住しない。
- 嫁さんがこない。
- 子どもが少なくなっている。
- 手賀東小学校には何年か転入生が入ってない。
- 外から人を呼び込みたい。
- 新住民を受け入れる素地をつくりたい。
- 不便さを逆手にとって地区の活性化を。
- 地区や農業の将来について中学生の意向も聞いてみては。
- 総合学習などを通じて地区・家庭・自分の将来を考えさせるような授業を。
- 教育と福祉は地区共通のテーマである。

<自然環境>

- ◎豊かな自然環境を残したい。
- ◎季節感が豊か。蓮が開花する音を聞かせたい。
- 減少してきている湧水の保全を。
- 斜面緑地の保全を。
- 山林は手放しやすい。
- 立木トラストなどで保全を。

<歴史文化>

- ◎地元の歴史文化の良さを見直したい。
- ◎文化講座の企画を考えたい。
- 町の文化財を子ども達に紹介する副読本の制作・配布を考えたい。
- 傷んだ文化財の修復をしてほしい。
- 地元の文化財を見てもらう機会をつくりたい。
- 文化財を見て歩くための道しるべやマップの整備を。
- 文化財を巡る巡回バスの運行を。
- 歴史民俗博物館の整備あるいは誘致を。

<土地利用>

- ◎土地は先祖から預かっているもの、自分の代で売ることはいらない。
- ◎受け継いだものを子どもに引き継ぐという感覚が強い。
- 風早村と手賀村の合併以来、高柳地区は発展したが、手賀地区は発展していない。
- 土地を有効に活かしていない。
- 市街化区域を設定しては。（今後50戸単位で家も建てられるようになる）
- 場外馬券場の誘致（300人の雇用あり）の善し悪しは別として何か誘致しないとダメだ。

<生活環境>

- 不法投棄の改善・解消を。
- ゴミのポイ捨て防止を、また空き地のゴミ捨て防止を。
- 野焼きの防止を。
- 生ゴミの堆肥化を。
- 井戸水の水質保全を。（水質基準がゆるいのでは）

- 上・下水道の整備を。

<防犯・防災>

- 外灯の増設を。
- 防犯パトロールの強化を。
- 駐在さんが不在のことが多く、対応が遅い。
- 消防署がない。

<交通>

- 交通の不便さが気になる。
- バスの便の改善を、加えて新たなバス路線の確保を。
- 水運が活かせないか？
- 通学路の整備、加えて通学路の安全確保を。
- 県道を覆う樹木の伐採を。
- 交通事故があっても道路状況が改善されていない。

<地場産業（農業・商工業）>

- ◎道の駅は若い人に好評である。
- 農業だけで生計を立てている人は少ない。
- 今後農業だけで生計を立てていけないので将来を考える必要がある。
- 農業の活性化とからめて地区の活性化を。
- 消費者との交流の促進を。そのために地区情報の発信を。
- 貸し農園を導入して遊休農地を有効利用する仕組みづくりを。
- 遊休農地があっても貸さない。
- 農家と消費者の相互にメリットがあるような話しにしていかなければならない。
- 特産品の開発を。
- 地元の農作物を地元の学校が使うような発想を。
- 近隣都市部へ行商にいく人も少なくなっている。

<コミュニティ>

- ◎各種の技を持っている老人パワーの活用を。
- ◎老人は教えてあげたいという意識が強い。
- ◎お年寄りが動き出せば、地区が動く。
- ◎子どものため、環境のためだったら動ける。
- ◎農協青年部に働きかけると動きやすい。
- のんびり・出不精の住民意識の改善を。
- 区の組織の改善を（序列が厳しい）。
- 冠婚葬祭以外、余り交流がない。
- 回覧の仕組みの改善を。
- 役員の当番がすぐ回ってきて忙しい。
- 住民の間にある垣根を取り払ってもらいたい。
- 地区内でも市民活動には温度差がある。
- 行政や学校からの呼び掛けでないと動きにくい。
- 人づくりが大事。
- 農家の嫁や長男のネットワークはあるが横のネットワークがない。
- この指とまれで横のネットワークづくりを。（いろいろな団体を拾い出す必要がある）

(2) 手賀地域行動計画

「地域診断カルテ」の結果をふまえた話し合いの中で、「手賀地域のこれからのまちづくりの方向や指針（こんなまちにしたいなあ）」が明らかにされました。その概要は（図2-1-2）に掲げるとおりです。これらからの手賀地域におけるまちづくりの目標像を一言で言い表すことは難しいことですが、「手賀の古き良き伝統を守り育てつつ、明るく楽しいまちをめざそう」といったことになりそうです。古き良き伝統は時にわずらわしい一面もありますが、それが手賀地区らしさであり、誇りであることが再認識されたという意味は大きい。

図2-1-2 手賀地域をこんなまちにしたいなあ

＜まちづくりの方向＞	＜まちづくり指針＞
<p>わたしたちは今からは創れない歴史の中にある「手賀らしさ・誇りを守り育て、誰もが住み続けられるまちを」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとの歴史文化が息づくまち ・子どもにとって楽しいまち ・お年寄りを大事にするまち ・若者が住みたくなるまち ・お嫁さんがくるまち ・地域外の人が訪れて楽しいまち 	①手賀沼の斜面林、谷津田の湧水、平地林などの豊かな自然環境を守り育てる。あわせて、ゴミ問題や水質汚濁の改善など、環境にやさしいまちづくりにも取り組む。
	②ふるさとの歴史文化を大切に守り育てていくとともに、訪ね・学ぶ機会を積極的につくっていく。
	③まち自慢と呼べるものを掘り起こすとともに、新たに育て、それらを活用して地域外からの来訪者との交流を深める。
	④暮らしを支える農業の活性化を図るとともに、農産物の販売や農業体験などを通じて消費者との交流を深める機会をつくっていく。
	⑤子ども達の意味もふまえながら、土地の有効利用を促し、地区の活性化を図る。
	⑥暮らしの安全と利便性の向上を図るために公共交通網の整備、交通安全対策の推進、防犯・防災体制の整備などに積極的に取り組む。
	⑦元気なまちであり続けるために、子どもや高齢者を媒介に、この指とまれ方式で横のネットワークづくりに努める。

「地域診断カルテ」をもとに「地域の要望や提案」が検討されました。その結果は、（表2-1-2）に示すとおりです。

表2-1-2 手賀地域の要望や提案

①豊かな自然環境を守り育てる	<ul style="list-style-type: none"> ・手賀沼斜面林の保全 ・谷津田の湧水の保全 ・平地林（里山林）などの保全
②ふるさとの歴史文化を守り育てる	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとの歴史文化を学ぶ講座の開催 ・ふるさとの歴史文化を子どもに紹介する副読本の制作及び配布 ・傷んだ文化財の修復 ・伝統的行事の保全・継承 ・長老をふるさとの歴史文化の語り部としての活用 ・文化財を見て歩くための道しるべの整備 ・文化財を見て歩くマップの作成 ・文化財を巡る巡回バスの運行 ・歴史民俗資料館の誘致・整備
③まち自慢の発掘・育成・活用に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ・美しい眺望の保全・活用 ・名物料理や郷土料理（店）のPR・活用 ・特産品の開発 ・手賀の丘公園のPRと活用 ・どんぐりの家・少年自然の家のPRと活用 ・遊休農地を活かした、ひまわり畑づくり ・四季の花で彩る花街道づくり ・地区の今昔ものがたりづくり
④土地の有効利用を促進する	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅地等の誘致 ・将来についての中学生の意向調査の実施 ・地区・家庭・自分の将来を考える総合的学習の推進
⑤暮らしを支える農業の活性化を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食に地元の農作物の活用 ・貸し農園を導入して遊休農地の有効利用 ・お年寄りの知恵と技の活用
⑥環境にやさしいまちづくりを進める	<ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄の防止 ・ゴミのポイ捨て、空き地のゴミ捨て、野焼きの防止 ・生ゴミの堆肥化の推進 ・井戸水の水質保全（水質基準の見直し） ・上下水道の整備
⑦暮らしの安全・利便性を確保する	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの便の改善 ・新たなバス路線の確保 ・水運の可能性の検討 ・県道を覆う樹木の伐採 ・橋の段差の解消 ・交通標識及び信号機の整備 ・通学路の安全確保（外灯の増設や歩道の整備等） ・防犯パトロールの強化 ・消防署の整備
⑧元気なまちであり続けるために	<ul style="list-style-type: none"> ・この指とまれで横のネットワークづくり

これら「地域の要望や提案」の中から、「住民が主体的に取り組む事業」を取り出し、整理したものが（表2-1-3）に示す「行動計画（住民主体でこんなことから取り組んでみよう）」です。

表2-1-3 手賀地域における行動計画（住民主体でこんなことから取り組んでみよう）

①花いっぱいのもちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 既に取り組んでいるカンナやヒマワリの咲く道づくりを地区全体に広げていく。 遊休農地を活かして域外の人たちとの交流が図れる花の名所づくりを、町の花「ヒマワリ」でつくる。 事業の推進にあたっては、農地を所有する地権者の理解と協力、住民ぐるみの推進体制、そして行政の支援体制などがポイントになる。
②中学校と連携した斜面林の保全活動	<ul style="list-style-type: none"> 学校における総合的学習や完全5日制とからめて斜面林の保全に取り組む。 手賀中学校を想定し、地権者の理解と協力、学校及び保護者の理解と協力、環境保全活動に関心をもつ市民グループ（森林インストラクターや環境カウンセラー等）の支援などがポイントになる。
③次代を担う子ども達へのアンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> 手賀地区の明日を担う子ども達がどんな志向性をもっているのかを中学生を対象に調査する。 既に町の「総合計画」策定時（平成11年度）に、全町的に実施された経緯があるが、それを手賀地区に即したかたちで新たにアンケートを作成し、独自に実施する。実施にあたっては学校の協力を得る。
④地区の今昔ものがたりを紡ぐための調査	<ul style="list-style-type: none"> ふるさとの歴史文化、とりわけ伝統的な祭事（表2-1-4参照）を守り育てていくための事始めとして取り組む。例えば、有志で「（仮称）ものがたり隊（語りたい・聞きたい）」を組織し、全地区を巡回し、長老から地区の祭事について聞き取り「各地区のまつりカレンダー（歳時記含む）」を作成する（まずは地区によって取り組み方が異なる“烏比しゃ”から始めてはの声あり）。 この取り組みには、中学生の参加を想定。また、地区の今昔をわかりやすく把握する意味で、子ども・大人・お年寄りの3世代が一緒になって、手賀での野遊びの今昔を調べてみるのも一案であるとの意見もあり。 この調査は、奥が深いだけに、県や町、あるいは民間助成団体の助成事業も活用し、長期的なプロジェクトとして取り組む。
⑤上記取り組みのための新たな場づくり	<ul style="list-style-type: none"> 何か行動を起こすにしても、その母体となる組織が必要なので、ワークショップにもあった「横のネットワークづくり」を視野に入れつつ、関係者、とりわけ学校に働きかけていく。参加者の関心が一番高かった④の事業をきっかけにしてはという声もあり。

表2-1-4 手賀地域の

	行事名	地区名	
1	手賀囃子	手賀・泉	
2	八日講	片山	3毛神社
3	天神講	泉・片山	地先3べり
4	田の神講	泉	
5	子安講		
6	烏比しゃ	泉・鷺野谷	
7	庚申講	泉	
8	初午	手賀	
9	天道念仏	片山	日
10	送り大師	白井市・東葛飾地区3市一町村	
11	手賀のアンバサマ（兵主八幡神社夏祭り）	手賀	

夏祭りの時に奉納されていたお囃子。神輿を神前で差し上げて勇ましく音頭が取られ、神輿はかつて村のはずれにある下の宿まで往復していた。神社境内の神輿殿の前に舞台が設置され上演された。太鼓1、小太鼓2、笛1、鉦1の5人で構成された。舞の順序は、まず獅子舞でお浄めをし、悪魔払いをしたあと。きつね、ひょっとこ、おかめ、大黒天などが次々と演じられる。八坂神社の完成と同時期の明治初年からの開始であろう。

手賀沼での水難者を供養する行事で、沼沿の各地区で行われている。片山地区では、南蔵院住職に読経を依頼し、施餓鬼に使用した塔婆を沼べりに連ねる。その前で鉦や太鼓を打ち鳴らしながら念仏「十三仏」を唱える。塔婆の周囲は、笹等で飾りつける。参加者は念仏講中13人。

古来から妊婦が死んだ場合や産褥での死の場合は成仏しにくいという考え方が強く、そのためには特別な呪法が必要とされてきました。この民間療法の儀礼は、人通りのある水辺に4本の棒をたて、経文を書いた赤い布切れを張り渡します。これに鏡・くしなどを結んで頭髪を供え、柄杓を備えておきます。これを流れの水で49日間、家族や多勢の人で洗い浄め、これにより成仏できるとされるのが「流れかんじん」の儀礼です。死んだ婦人の亭主や家族、近親者などは7日間、朝夕に水を掛けにいけます。飾りつけは流れの中に立てて風雨にさらしておくので数週間で破損してしましますが、作り直すことはしません。その布の色があせ、経文が消えるとその時点で、死者が成仏できたと考えられてきたからです。

古くは15ヶ村あるいは17ヶ村からオゴゼンが供進されたと伝えられています。代表者は各地区とも昔は名主が、近年では区長が担当し、服装は紋付羽織が多かったのですが後には平服となりました。そして各地区はほとんどがえごうと称する飯びつにご飯を入れ、山海の幸と共に祭具としての三方、膳、椀、杓子などを小型の長持ちに納め、それにしめ飾りを付け、青竹をつき、二人が担いで、数人で供進しました。

表2-1-4 手賀地域の主な伝統的な行祭事

手賀地域の主な伝統的な行祭事

	行事名	地区名	日程	場所	内容
1	手賀囃子	手賀・泉	7月第1日曜 1月第4日曜	大杉神社	
2	八日講	片山	1月8日 5月9日	片山青年館	奥州三山講で年3回供養を行う。期日が決定しているのは、正月の8日だけで、5月9日は当番が都合の良い日を選ぶ。正月は、地区の兵主八幡神社まで参拝に行き、礼拝讃を述べる。その後片山青年館で講行事となる。拝軸（三山の神はすべて仏装）の前で般若心経を唱える。代参費用の積立は行っていない。
3	天神講	泉・片山	1月25日	龍泉院	子ども達が菅原道真のような学者になることを願って、お祭りをする。神社に子ども達が集まって会食したり、女子はお針の師匠さんのところに集まって針供養を行った。
4	田の神講	泉	1月11日	泉青年館	1月11日または12日の夕方、当番10人と招待された来年の当番（来当）の代表者4人によって青年館で行われる。神号の掛け軸（かつては「田の神」であったが現在では「豊受大神宮」を掛け、神前にはお餅一重ねとお神酒、野菜・魚などを供える。お参りは、型通りの二拍二礼と五穀豊稔を祈る簡単なものだが、この時本来は当番からの申し送りを半紙に書き記した帖を割竹にはさみ、それを背中にさして拝礼する。その後宴会となる。泉地区は、西、中、東、南という4つの「ホウ」に区分されており、各ホウから5人づつ当番が出る。講員は、地区農家の成人男子である。
5	子安講				
6	烏びしゃ	泉・鷺野谷	2月22日～ 23日	鷺野谷星神社 泉妙見社	2月22日、泉・妙見社、鷺野谷、星神社には「烏びしゃ」と称し、米粉づくりの烏が奉納される。米粉で本体が作られ、へらやくしなどで形を整え、赤・青・黄などの食紅で美しく彩色される。こうして作った。小鳥や鶴などを古木を配置した台に飾り並べる。現在は当番のものが奉納するだけであるが、第2次世界大戦までは、氏子の各家から数多く奉納され、その優劣が競われ祭礼の後にこれを参詣者に供するほど盛んであった。現在ではその技術を有志が小学校で教えている。
7	庚申講	泉	2月11日 8月11日 11月11日	竜泉院	年3回、大悲殿において供養が行われる。背面金剛への掛け軸、2幅が掲げられ住職の講話がある。泉地区では6年ごとに庚申講が組織され（新講）7年目に供養が行われる。新しい庚申塔を造立したり、その整備を行ったりする。構成員は、40代、50代の男性で、会費を積み立て旅行をしたりしている。
8	初午	手賀	2月初めの午の日	稲荷神社	
9	天道念仏	片山	3月14日 3月15日	南蔵院本堂	3月14日、本堂内において祭壇の飾り付けを行う。堂内中央に新竹を四角に組み、上部に幣束を立てる。室の四角に紐を張り、色紙を下げて完成である。3月15日は、「六座念仏」「一心頂礼」「敬礼天」「十三仏」の順で念仏を唱え、最後に祭壇の廻りを太陽の周囲に従って（左回り）、鉦（しょう）・太鼓を打ち鳴らしながら「御念仏（オネブツ）」を唱え廻る。「御念仏」は天道念仏の時だけに唱えられるもので、大変に難しく、現在ではかつての録音テープを流しながら行っている。（講員10人）
10	送り大師	白井市・東葛飾地区3市一町村	5月1日～ 5日間		白井市・沼南町を含む3市1町に点在する大師堂（札所）の八十八ヶ所他を大師講の団体が巡拝する。弘法大師の御影を笥（きゅう）に収め、その年の結願にあたる地区の寺院の住職が先達となる。（寺院・講員の宗派は雑多）「南無大師遍照金剛」の幡をひるがえし、法螺貝を吹き、遍照金剛を唱えながら進む。一般の講員は首に結願区名入りの手ぬぐいをかけ、散米袋を下げた白装束である。結願にはこの行列に稚子連なども加わり、盛大となる。
11	手賀のアンバサマ（兵主八幡神社夏祭り）	手賀	7月1日	八幡神社	毎年7月1日の「アンバサマ」の祭礼で上演されるお囃子。手賀公民館から繰り出され、地区内の4ヶ所で上演される。内容は獅子・きつね・おかめ・ひょっとこ・（3種）である。構成は付け太鼓2、太鼓1、鉦1、笛1他に踊りの場合は鼓1が加わる。由緒は江戸中期に流行した疫病を追い払うためにアバの大杉神社のご分身を勧請し、無病息災を祈ったことにある。保存会の人数は11人。地元小学校の児童50人が毎週金曜日の夜に小学校で練習をしている。

12	若白毛囃子（ひょっとこ舞・八坂神社夏祭）	若白毛	7月24日	若白毛八坂神社	夏祭りの時に奉納されていたお囃子。神輿を神前で差し上げて勇ましく音頭が取られ、神輿はかつて村のはずれにある下の宿まで往復していた。神社境内の神輿殿の前に舞台が設置され上演された。太鼓1、小太鼓2、笛1、鉦1の5人で構成された。舞の順序は、まず獅子舞でお浄めをし、悪魔払いをしたあと。きつね、ひょっとこ、おかめ、大黒天などが次々と演じられる。八坂神社の完成と同時期の明治初年からの開始であろう。
13	川施餓鬼	片山	8月25日	片山地先手賀沼ベリ	手賀沼での水難者を供養する行事で、沼沿の各地区で行われている。片山地区では、南蔵院住職に読経を依頼し、施餓鬼に使用した塔婆を沼べりに連ねる。その前で鉦や太鼓を打ち鳴らしながら念仏「十三仏」を唱える。塔婆の周囲は、笹等で飾りつける。参加者は念仏講中13人。
14	妙見講	片山			
15	十九夜講				
16	御岳講	片山			
17	古峰講	片山			
18	初乗り				
19	流れかんじん				古来から妊婦が死んだ場合や産褥での死の場合は成仏しにくいという考え方が強く、そのためには特別な呪法が必要とされてきました。この民間療法の儀礼は、人通りのある水辺に4本の棒をたて、経文を書いた赤い布切れを張り渡します。これに鏡・くしなどを結んで頭髪を供え、柄杓を備えておきます。これを流れの水で49日間、家族や多勢の人で洗い浄め、これにより成仏できるとされるのが「流れかんじん」の儀礼です。死んだ婦人の亭主や家族、近親者などは7日間、朝夕に水を掛けにいります。飾りつけは流れの中に立てて風雨にさらしておくので数週間で破損してしましますが、作り直すことはありません。その布の色があせ、経文が消えるとその時点で、死者が成仏できたと考えられてきたからです。
20	オゴゼン	片山・泉	10月7日		古くは15ヶ村あるいは17ヶ村からオゴゼンが供進されたと伝えられています。代表者は各地区とも昔は名主が、近年では区長が担当し、服装は紋付羽織が多かったのですが後には平服となりました。そして各地区はほとんどがえこうと称する飯びつにご飯を入れ、山海の幸と共に祭具としての三方、膳、椀、杓子などを小型の長持ちに納め、それにしめ飾りを付け、青竹をつき、二人が担いで、数人で供進しました。
21	大杉ばやし	布瀬 片山 金山	1月27日 2月11日 2月1日・7月27日		

2-2 大津ヶ丘地域

平成 14 年度実施事業

大津ヶ丘第一小学校区

風早北部小学校区



(1) 大津ヶ丘地域診断カルテ

<風早北部小学校区>

ワークショップにより明らかになった風早北部小学校区における「主な現状と課題」は、次のとおりです。

①自然環境



- ・昔と比べて大きく変わったものの、斜面緑地が残り、たまに野生動物が確認でき、一部に谷津田の風景が残るなど、まだまだ自然環境は良好である。



斜面緑地

②歴史文化



- ・ふるさとの歴史文化を偲ぶことのできる社寺が多い。ただし、一部には文化財としての保護、PRや案内、環境整備などを要するものもある。



鏡の井

③土地利用



- ・緑台地区とその他の地区とは大きく異なる。大学や福祉施設の立地が見られる。



⑤交通

- ・交通渋滞、交通事故の多発、狭隘（キョウアイ）な道路、道路にはみ出す樹木、バス便の少なさなど、問題が大変多い。
- ・通学路の安全確保が大きな課題である。



狭い歩道

④生活環境



- ・雨水排水状況の悪さ、ゴミの散乱、送電線の影響、野良猫の繁殖などの問題がある。



ゴミの散乱

⑥教育（学校・社会・生涯学習）

- ・中央公民館は活発に利用されている。
- ・子育てには、良い環境であるが、昔のような子どものたまり場がなくなったり、外で遊ぶ子どもが少なくなっている。

⑧娯楽・レクリエーション

- ・緑台公園は、大変活性化しているが、総じて地区内の公園は住民の清掃活動が行き届かず汚くなっている。
- ・娯楽及びレクリエーションの場や施設は比較的整っている。

⑨地場産業（農業・商工業）

- ・農業が主体の地域である。地場産品を販売する道の駅の経営は、良好である。

風早北部小学校区の現状と課題の内、特定の場所に係わるコメントを地図上に記載したものが、(図2-2-1)の「地域診断カルテ(マップ編)」、また、これらを含めコメントを分野別に整理したものが、(表2-2-1)の「地域診断カルテ(コメント編)」です。



地区探検会での一枚
福満寺にて

⑦健康・保健・福祉

- ・沼南リハビリテーション病院は、一般者の診療も受け入れている。小児科や産婦人科などの専門病院がない。



沼南リハビリテーション病院

⑩コミュニティ

- ・大木戸通り商店街は、地域と密着した活動をしている。風早北部小学校では、おやじの会などの活動が活発である。

風早北

福満寺 夕方6時の鐘が鳴り響く。朝6時には妙照寺で鐘が鳴る。

福満寺には四国八十八ヶ所を模した大師様があり、一軒で一つずつ管理している。

福満寺の池 上野不忍池の縮小版

平将門の第3夫人「車のご前」が使用した鏡井戸

手賀沼八景の一つ、「大井の晩鐘」あり。

香取神社は、毎年7月27日大杉様のお祭りが盛大に行われ、大井地区の子ども達がたくさん参加する。

妙照寺の天然記念物になっている杉の木が見事だ。

緑台

緑台公園は8月中旬、2日間に渡り盛大に盆踊りが夜店が出たり、国際交流の一環として在住の外国人の招待し人の輪を広げる役割を担っている。

緑台公園にゴミが散乱している。

緑台とその他の地区とは別の地区の様な格差を感じ

緑台の公園の裏の田んぼに蛭がいた。

閑静な高級住宅地(緑台)の周りには昔の名残りが谷津田などもある。

カーブミラーが欲しい。子どものサーキット場になって危ない。

各家庭の庭は、ガーデニングブームできれいになって

公共の公園は汚くなる傾向がある。地域住民による活動も衰退している。

夕方、ウォーキングをしているグループが増えた。

花火大会の時、車の駐車が多い。(緑台)

アパート前の公道が駐車場がわりになっている。

地区全体

野生の生物がたまにみられる。例えばタヌキ、キジ、イタチなど。

学区北側には、緑が多くある。

霧がすごい。(大津川沿い)

風早北部小学校の周りに沼南町唯一の大学があるが、地区、福祉地区、史跡地区が混在している。

中学校から60校近く受験することができる。(茨城・東京・千葉)

子どもを育てるには自然があってよい。

農家の方が多い。(大井・其輪・大島田)

カブト虫がたくさんいる。(大井の秘密の場所)

最近野良猫が増えている。

送電線が多く、人体への影響が心配。

小児科・産婦人科専門の病院が沼南町にない。

昔は子どものたまり場があった。

小・中学校の先生の年齢が高くなっている。

子どもは、家の中で遊ぶか塾に行く。

大学など通うとなると少し遠い。

コンクリート護岸整備されている小川がある。

大木戸からのバスの便が悪い。

印西から沼南を通して流山まで手賀沼沿いにサイクリングロードが「手賀沼自然ふれあい緑道」として整備される。

昔は手賀沼でよく泳いだ。

手賀大橋の近くに観光農園を作る予定がある。

手賀大橋の近くに、10haの花の公園を作る予定がある。

道の駅で手賀沼の汚泥・ヘドロを材料に作ったレンガが使用されている。環境にとって有効利用法では...。もっと一般でも利用したい。

道の駅は収益性が高い。

道の駅付近・船橋・我孫子線沿線にホテルの看板が多く沼南町のイメージダウンにつながっている恐れあり。

香取神社にゴミが散乱している。誰が管理しているかわからない。

庚申塚の古さに驚いた。

船橋・我孫子線

道の白線が消えている。

樹木が道側に伸びていて歩道が余計狭くなっている。

沿道に木が茂ってトンネルのようになっている。電線を越えて竹の枝が飛び出している。

信号待ちをする時、狭くて危ない。

船橋・我孫子線全線は大型トラック等交通量が多く、排気ガスがひどい。年中渋滞している。

パチンコ店の駐車場から出てきた車が歩道を通り車道に出る可能性がある。出入り口に停止線が欲しい

木が鬱蒼(うっそう)と茂っていて危険。

歩道にゴミが散乱していた。

すり鉢状の地形のため雨水がたまる。

歩行者・自転車が通りにくい。道路が整備されていない。

通学路の看板が一つもないが、運転手の注意を促すためにも看板が必要である。

スクールゾーンの通行禁止時間帯にも許可車以外の一般車両の通り抜けがある。(石戸商店街)

小松山に花火工場があった。

「いなげや」の駐車場出口は、無灯火の自転車が見えにくい。

提案

※沼南町の音八景・香八景を探してみませんか

※伝統的行事(大井地区)をさがす。他の地区も探してみてもいい?

表2-2-1 風早北部小学校区の地域診断カルテ（コメント編）

凡例 ◎：良いところ（保全・活用・強調したい） ●：悪いところ（改善・除去したい）

＜自然環境＞

- ◎野生の生物がたまにみられる。例えば、タヌキ、キジ、ウサギ、イタチなど。
- ◎船戸古墳では雑木林が整備されており、このような自然は残して欲しい。
- ◎残存する斜面緑地は重要である。
- ◎学区北側には、緑が多くある。
- ◎閑静な高級住宅地（緑台）の周りには昔の名残があり。谷津田などもある。
- ◎大津川沿いは霧がすごい。
- ◎カブト虫がたくさんいるところがある。
- ◎風早北部小学校に大きな桜の木がある。
- ◎道の駅では手賀沼の汚泥・ヘドロを材料に作ったレンガが使用されている。環境にとって有効利用法であり、もっと一般でも利用したい。
- ◎昔は緑台の公園の裏の田んぼに蛭がいた。
- ◎昔は手賀沼でよく泳いだ。
- ◎船戸古墳からの見晴らしがよい。
- コンクリート護岸整備されている小川がある。

＜歴史文化＞

- ◎福満寺には四国八十八ヶ所を模した大師様があり、一軒で一つずつ管理している。
- ◎香取神社は、毎年7月27日大杉様のお祭りが盛大に行われ、大井地区の子ども達がたくさん参加する。
- ◎庚申塚の古さに驚いた。
- ◎福満寺は、夕方6時に鐘が鳴り響く。朝6時には妙照寺の鐘が鳴る。
- ◎福満寺の池は上野不忍池の縮小版。
- ◎妙照寺にある天然記念物の杉は見事である。
- ◎鏡井戸は、平将門の第三夫人車の前が使用したと伝えられている。
- ◎小松山に花火工場があった。
- 五輪の塔は文化財のわりには埋もれている。
- 船戸古墳には説明や標識がない。
- 香取神社にゴミが散乱している。誰が管理しているかわからない。

＜土地利用＞

- ◎榎木戸通りにコンビニが増えた。
- ◎緑台とその他の地区とは別の地区の様な格差が感じられる。
- 風早北部小学校の周りに沼南町唯一の大学があるが、文教地区、福祉地区、史跡地区が混在している。

- 道の駅付近・船橋・我孫子線沿線にホテルの看板が多く沼南町のイメージダウンにつながっている恐れあり。

＜生活環境＞

- ◎スーパーマルヤで地場の野菜の販売をするようになり、道の駅まで行かなくて良い。
- カドミウム汚染残土がある場所がある。
- 歩道にゴミが散乱していた。
- 送電線が多く、人体への影響が心配。
- すり鉢上の地形のため雨水がたまる。
- 木がうっそうと茂っていて危険。
- 最近野良猫が増えている。

＜交通＞

- 道路の白線が消えている。
 - 信号待ちをする時、狭くて危ない。
 - 樹木が道路側に伸び、歩道が余計狭くなっている。
 - パチンコ店の駐車場の出入り口に停止線が欲しい。
 - 沿道に木が茂ってトンネルのようになっている。電線を越えて竹の枝が飛び出している。
 - いなげやの駐車場出口は無灯火の自転車が見えにくい。
 - 交通事故が多い。
 - 船橋・我孫子線は、大型トラック等交通量が多く、排気ガスがひどい。年中渋滞している。
 - カーブミラーが欲しい。子どものサーキット場になっている。
 - 歩行者・自転車が通りにくい。道路が整備されていない。
 - 大木戸からのバスの便が悪い。
 - 花火大会の時、車の駐車が多い。
 - 都内の大学などに通うとなると少し遠い。
 - スクールゾーンの通行禁止時間帯にも許可車以外の一般車両の通り抜けがある。
 - 通学路の看板が一つもないが、運転手の注意を促すためにも看板が必要である。
- ＜公園＞
- ◎緑台公園は8月中旬、2日間に渡り盛大に盆踊りが行われる。夜店が出るし、国際交流の一環として在住の外国人の方を招待し人の輪を広げる役割を担っている。
 - 緑台公園にゴミが散乱している。

●各家庭の庭は、ガーデニングブームできれいになっているが公園は汚くなる一方。地域住民による清掃活動も衰退している。

＜娯楽・レクリエーション＞

◎印西から沼南を通して流山まで手賀沼沿いにサイクリングロードが整備される。

◎手賀沼八景の一つ、「大井の晩鐘」あり。

◎手賀大橋の近くに観光農園を作る予定がある。

◎手賀大橋の近くに、10haの花の公園を作る予定がある。

◎夕方、ウォーキングをしているグループが増えた。

◎役場前の花畑は憩いの場として活用されている。

◎役場6階には、福祉喫茶「ひまわり」があり、軽食しながら眺望が楽しめる。

＜健康・保健・福祉＞

◎沼南リハビリテーション病院は、一般の人でも診察を受け入れている。

◎北部社協が65歳以上の方を招いて「ふれあいサロン」を開催した。会場を従来のように公共施設ではなく、お寺を開放してもらうことができ、地域と密着して良かった。



船戸古墳

●小児科・産婦人科などの専門病院が沼南町にない。

＜教育（学校・社会・生涯学習）＞

◎中央公民館は、大ホール・大会議室・集会室・図書室などがあり、社会教育の拠点として、各種講座・教室、自主サークル活動などに活発に利用されている。

◎中学校から60校近くを受験することができる。（茨城・東京・千葉方面）

◎子育てには自然があってよい。

●小・中学校の先生の年齢が高くなっている。

●昔は、子どものたまり場があった。

●今の子どもは、家の中で遊ぶか塾に行く。

＜地場産業＞

◎道の駅は収益性が高い。

◎大井・其輪・大島田は農家が多い。

＜コミュニティ＞

◎大木戸通り商店街は地域に密着した活動を行っており、店先に花を飾り、花いっぱいの町づくりに貢献している。

◎風早北部小学校区では、おやじの会の活動が活発である。



船橋・我孫子線は大型トラックなどの交通量が多い

＜大津ケ丘第一小学校区＞

ワークショップにより明らかになった大津ケ丘第一小学校区における「主な現状と課題」は、以下のとおりである。

①自然環境・眺望



・自然護岸の整備により大津川は、自然とふれあう良い場所になった。期待が大きいだけに未着手部分の早期整備を期待したい。



大津川

②歴史文化



・開発で昔の面影は、なくなったが、古墳、水神様、湧水のいわれなどから地域の歴史文化を偲ぶことはできる。



水神様

③生活環境



・大津ケ丘第一小学校横の桜並木、ボランティアによる花壇づくり、ガーデニングされた住宅などは地域の自慢。しかし、夜中のバイク集団の騒音、産廃問題、並木の強剪定、未利用の公園用地の有効利用などの問題もある。



ボランティアによる花壇づくり

④交通



・国道及び県道の交通渋滞の緩和や歩道の整備、歩行者の安全確保に配慮した道路整備や交通対策を望む声が大変多い。

⑤健康・保健・福祉



・地区社協が中心となって高齢者交流会など、お年寄りに良きたまり場を提供している。知的障害者施設の桐友学園は、地域との交流が活発である。公園団地のバリアフリー対策が進んでいるものの、エレベーターのない団地は、高齢化が進む中で心配である。

⑥ 娯楽・レクリエーション

- ・大津ケ丘中央公園では多様なレクリエーションやスポーツが楽しめるが、夜間、中学生がたまり場としている。2丁目団地では毎年桜まつりを開催、夜はライトアップもしている。座間養魚場は気軽に釣りが楽しめて人気がある。



大津ケ丘中央公園

⑧ コミュニティ

- ・公園団地は、総じてコミュニティ活動が活発だが、戸建て住宅地やアパートの一部にはまとまりに欠けるところもある。コミュニティ活動では地区社協が大きな貢献をしているが、社協の地区区分と中学校区との区域が異なる点は、今後、まちづくりを進める上で不都合な点も少なくない。

大津ケ丘第一小学校区の現状と課題の内、特定の場所に係わるコメントを地図上に記載したものが、(図2-2-2)の「地域診断カルテ(マップ編)」また、これらを含めコメントを分野別に整理したものが、(表2-2-2)の「地域診断カルテ(コメント編)」です。

⑦ 地場産業(農業・商工業)

- ・中央商店街の空き店舗対策が課題となっている。地域では福祉施設としての活用案も浮上している。



中央商店街

図2-2-2 大津ケ丘第1

平成15年3月31日現在



大津ヶ丘第一小学校区

中の橋→エリカへの道路は一方通行にはなったものの、道幅狭く、歩行者には歩くのが怖い。
県道は交通量が多い。歩道が無いし、道を渡るのが危険。

中の橋際には女性の会のボランティアによる花壇がある。

長年に亘る産廃問題を何とかして！西風の時は大津ヶ丘に流れてくる！
大津川を挟んだニッカ側に産廃工場があり、白煙が絶え間なく上がっている。

大津川の土手に水神様あり。

大津川の改修は期待が高いだけに、工事のスピードが遅いのが気がかりだ。中の橋周辺では用地買収も出来ておらず、工事未着手の部分が残されていた。

大津川多自然型川づくりでは東葛土木事務所が5回にわたって懇談会を開催し、住民からの意見を吸い上げながら原案の修正を繰り返した。良いやり方だ。

大津川流域の整備が遅れている様子。子ども達が身近に自然に接することができるように安全策を講じてほしい。（自然に準じる工作物）

カワセミがいた！カモ、コサギ、トンボなどが生息する自然を残しながら、子どもや高齢者の人達の憩いの場になるようにもう少し整備されるといいな。ベンチなどを置いて。

水辺で遊べるようにという大津川の改修は大賛成。子どもや大人、障害者にも楽しめるような散策路やベンチもほしいな。

大一小横の桜並木は101本あり、1本ずつ種類が異なる。

第1・第4管理組合間の車道のユリノキ並木は樹種の選定を根本的に間違った。

第1、第4管理組合間の道（ユリノキ並木）は季節に関係なく、夜中にバイクの集団が騒音を響かせて通り、テレビの音も聞こえない時がある。

第1管理組合ののり面の松は下枝が枯れ、防音効果が全くなかった。

大津ヶ丘3-1の団地（第1管理組合）では「建物を管理するのは、そこに住む住民であり、住民のコミュニケーションが良くなければ、良い団地の管理は難しい」との趣旨で管理組合の中に町内会を組織している。

大津ヶ丘3-1の団地（第1管理組合）の西北部にある見晴台は隠れた名所だ。

3丁目3-1町内会夏まつり、餅つき、バスツアー、ウォーキング。

地図の色
●・・・良いところ
●・・・悪いところ
●・・・提案・その他
●・・・公共施設
川・沼
主要幹線道路
公園・緑地帯
小学校区境

旧コジマ電器裏の裏道に三峯神社の小さなほこら発見。富士山も眺められそうなお見晴らしの良い高台にある。寄進者名簿には古くからの地元の有志が名前を連ねていた。

旧コジマ電器裏の裏道、校区の中にこんな道があるのはオドロキ！

大津ヶ丘の西端に出来た造成地は区画は「大井」に入るが、生活圏は大津ヶ丘であろう。新たに入居する人達は地縁もない新住民であれば、よけいに大井との縁は薄くなる。地図上で引く行政の線引きと、住民が自然発生的に結ぶコミュニケーションの和との間での矛盾を感じる。

第2団地は8棟からなる公園賃貸住宅。腰掛組の若い人と居座組みの高齢者たちの両年代層に2分されている模様。自治会などの内部コミュニケーションの機能もなく、問題点を抱えていないか心配する。

大津一小横の新住宅：公園設計時は幼稚園計画地（？）だったとのこと。南田公園の幅広の滑り台下が、民家と密着し、遊ぶのに危険性すら感じられる。せめてこの一面だけでも町有地として残しておいて欲しかった。

大津ヶ丘第一小学校

中央商店街は閉店が多く活気が無い。

中央商店街は入居当時は活気があったが伊勢角の開店により客の流れが変わり、沈滞化した。15店舗のうち8店舗が撤退し、5店舗が入替わったが3店舗が長いこと空家のままとなっている。

中央商店街の空き店舗を地域の福祉施設として活用する案が提起されている模様。実現の方向でぜひ決定して欲しい。（地域子育て支援センター開設）

中央商店街の店舗拡張用として土地も20年更地になっており、大津ヶ丘ふるさとまつりの会場として使ってきた。しかし、平成14年になり、その一部が私的な住宅として分割され、まつり用地として非常に使いにくくなった。

エリカマンションには「花の会」もあり、緑地や花壇を管理。樹下への休憩ベンチの設置などもある。

エリカマンションとグランシティは全棟エレベーター完備、高齢者社会に適合している。

エリカマンションは沼南町で初めての高層マンションで、その当時としては画期的な集合住宅であり、今でもマンションの住民の結束は強く、いろいろな催しをマンション内で行っている。

エリカマンションでは盆踊り、餅つき大会などのイベントを通じて、環境、コミュニケーションの維持に努めている。

中の橋遊水池は普段はテニスコート、簡易運動場として開放されている。雨の日には遊水池に変わる。大きな水路があるが溜まった雨水は表流水として流しているのだろうか。自然浸透をさせるのだろうか。

向原公園は昔の谷津頭で湧水があったところという。
向原公園内に康申塚あり。

2丁目の戸建て住宅（2丁目町会）は大津ヶ丘に4つある戸建て住宅では一番小さいが皆をまとめる催しが無いのが残念。

桐友学園・プロムナード間の住都公園用地は25年も空き地のまま放置されており、もったいない土地だ。有効利用の道を考えたいものだ。

大津ヶ丘3-53の団地（第4管理組合）は6棟からなる中規模の団地で町内会もあり、夏まつり、餅つき大会が開催される。

伊勢角前の花壇は大津ヶ丘中央公園の西端に当たる公共施設であったが、予算削減のためか、いつの間にか世話されなくなり、荒れ放題になっていた。平成13年にボランティア団体「花ボラ会」が発足し、随分ときれいに整備され、周囲の住民を楽しませている。

「花ボラ会」のボランティア参加者は一部の人達のような。

地区全体

大津ヶ丘地区で具体的に自主管理をし、歴史と実績を築いたのは大津ヶ丘地区社協である。しかし、今回の地区診断カルテを含めて行政の行う指定地域は全て中学校区。地区社協区とは別地域になっているところにネジレ現象が生じている。

平成14年11月24日に役場大会議室で行われた「まちづくり懇談会」で中学校区と地区社協区のネジレについて、まちづくりはコミュニケーションが大事で学区にこだわることはないとの意見発表をし、平成15年までに検討するとの答弁をもらった。

大津ヶ丘全体の行事「大津ヶ丘ふるさとまつり」今年で5回目、大津ヶ丘1～4丁目の各町会各管理組合、大津ヶ丘地区社協が実行委員会をつくって開催。

4丁目も含めた大津ヶ丘地区を束ねなければならない区長会の掌握実績は、戸建て4町会とだけであり、団地（分譲7団地と賃貸2団地）は掌握外となっている。よって大津ヶ丘ふるさとまつりの実行委員長には大津ヶ丘地区社協会長が就任した経過もある。

大津ヶ丘中央公園

大津ヶ丘中学校

平成15年3月31日現在

桐友学園（知的障害者）：地域と共存して地域活動にも協力してくれている。

桐友学園は大津ヶ丘の開発以前から開園していた知的障害施設がある。学園、園児、地域住民共に共存しており、大津ヶ丘地区社協活動、大津ヶ丘ふるさとまつりなどの地域活動にも積極的な参加をしている重要メンバーとなっている。

大津ヶ丘中央公園のプールは、子どもプールと一般プールがあり、夏は子ども達、冬は冬鳥の憩いの場となり、和やかな場を作っている。

林がある大津ヶ丘中央公園は1丁目、大津中、向原公園を経た谷津と並んだ谷津の頭にあたり、昔は湧水が出ていた。

大津ヶ丘中央公園の紅葉が見事だった。

大津ヶ丘中央公園は中学生が暗くなってから溜まり場にして遊んでおり困る。

大津ヶ丘中央公園の野球場は軟式のみだが、少年野球場として他県からの親善試合にも使われている。

テニスコートのある大津ヶ丘中央公園は藤ヶ谷の総合体育館、塚崎運動場、手賀の丘公園に並ぶ町内4大運動施設のひとつ。テニスコートは3面あり、夜間照明もある。

1丁目の戸建て住宅ではガーデニングに打ち込んでいるお宅を幾つも発見。歩いていて気持ちが良い。

プロムナードは一番後にできた団地で4階建て4棟だけとこじんまりしている。夏祭りは開催している。これからのコミュニティづくりの活発化を期待したい。

大津ヶ丘コミュニティセンターは大津ヶ丘4町会（1～4丁目、4丁目は大津第2小・風中学区）で管理している。大津ヶ丘地区社協の拠点として使っているが、管理団体が町会の集合体であるため、無条件で無償とはならない。

大津ヶ丘地区社協が毎月開催している高齢者交流会は、平成14年の12月で100回目を迎え、毎回50人前後のお年寄りに憩いの場を提供している。

2丁目団地（第2管理組合）の桜は毎年4月第1日曜日に桜まつりを行い、前後の1週間ライトアップを行っている。

2丁目団地（第2管理組合）では緑の会が植栽ボランティアを行っている。まつりでは子ども会もあったが消滅した。夏祭り、餅つき大会も例年行われている。

大津ヶ丘交番前で夕方、お年寄りが死亡する交通事故があった。

前原公園に古墳（円墳）と開発時に周囲から集められた石塔がある。子ども達の遊戯施設もある公園。

あいみ保育園は早朝。夜間保育も行っている。

公園の賃貸団地はアプローチまではバリアフリー工事が終わった。

大津ヶ丘団地バス停付近は道が行き止まり。いつ通り抜けることができるか...

表2-2-2 大津ヶ丘第一小学校区の地域診断カルテ（コメント編）

凡例 ◎：良いところ（保全・活用・強調したい） ●：悪いところ（改善・除去したい）

<自然環境>

- ◎自然護岸に改修された大津川ではカワセミやカモ、コイが一杯いた。
- ◎カワセミがいた！カモ、コサギ、トンボなどが生息する自然を残しながら、子どもや高齢者の人達の憩いの場になるようにもう少し整備されるといい。ベンチなどをおいて。
- ◎昔の人の生活が偲ばれる農地が所々に残っている。
- ◎大津川多自然型川づくりでは東葛土木事務所が5回にわたって懇談会を開催し、住民からの意見を吸い上げながら原案の修正を繰り返した。良いやり方だ。
- ◎水辺で遊べるようにという大津川の改修は大賛成。子どもや大人、障害者にも楽しめるような散策路やベンチもほしいな。
- ◎大津ヶ丘には心和む田園風景がある。
- 大津川流域の整備が遅れている様子。子ども達が身近に自然に接することができるように安全策を講じてほしい（自然に準じる工作物）。
- 大津川の改修は期待が大きいだけに、工事のスピードが遅いのが気がかりだ。中の橋近辺では用地買収も出来ておらず、工事未着手の部分が残されていた。

<歴史文化>

- ◎前原公園に古墳（円墳）と開発時に周囲から集められた石塔がある。子ども達の遊戯施設もある公園。
- ◎大津川の土手に水神様あり。
- ◎向原公園は昔の谷津頭で湧水があったところと言う。
- ◎大津ヶ丘中央公園は1丁目、大津中、向原公園を経た谷津の頭にあたり、昔は湧水が出ていた。
- ◎旧コジマ電器裏の裏道に三峯神社の小さなほこらを発見。富士山も眺められそうな見晴らしの良い高台にある。寄進者名簿には古くからの地元の有志が名前を連ねていた。

<生活環境>

- ◎大津ヶ丘第一小学校横の桜並木は101本あり、1本ずつ種類が異なる。
- ◎中の橋際には女性の会のボランティアによる花壇がある。

- ◎伊勢角前の花壇は予算削減のためか、いつの間にか世話をされなくなり、荒れ放題になっていた。平成13年にボランティア団体「花ボラ会」が発足し、随分ときれいに整備され、周囲の住民を楽しませている。
- ◎旧コジマ電器裏の裏道、校区の中にこんな道があるのはオドロキ！
- ◎中の橋遊水池は普段はテニスコート、簡易運動場として開放されている。雨の日には遊水池に変わる。
- ◎1丁目の戸建て住宅ではガーデニングに打ち込んでいるお宅を幾つも発見。歩いていて気持ちがよい。
- ◎大津ヶ丘3-1の団地（第1管理組合）の西北部にある見晴台は隠れた名所だ。
- 長年に渡る産廃問題（2ヶ所）を何とかして！西風の時は大津ヶ丘に流れてくる！
- 第1・第4管理組合間のユリノキの並木は樹種の選定を根本的に間違った。
- 第1管理組合の法面の松は下枝が枯れ上がり、防音効果が全くなかった。
- 大津川を挟んだニッカ側に産廃工場があり、白煙が絶え間なく上がっている。
- 大津ヶ丘第一小学校横の新住宅は公団設計時、幼稚園計画地（？）だったとのこと。公園の幅広の滑り台下が、民家と密着し、遊ぶのに危険性すら感じられる。せめてこの一画だけでも町有地として残しておいてほしかった。
- 桐友学園・プロムナード間の住都公団用地は25年も空き地のまま放置されており、もったいない。有効利用の道を考えたい。
- 中央商店街の店舗拡張用地は20年以上更地になっており、大津ヶ丘ふるさとまつりの会場として使ってきた。しかし、平成14年になり、その一部が住宅として分割され、まつり用地として非常に使いにくくなった。
- 第1、第4管理組合の間の道（ユリノキ並木）は季節に関係なく、夜中にバイクの集団が騒音を響かせて通り、テレビの音も聞こえない時がある。

<交通>

- いこい荘付近の道路は未整備で危険。

- 県道は交通量が多い。歩道がないし、道を渡るのが危険。
- 国道16号線の混雑が大津ケ丘の人口減の主要因になっている。
- 国道16号線の混雑解消策として計画されているバイパスに力を入れて欲しい。
- 中の橋からエリカへの道路は一方通行であるが、道幅が狭く、歩行者には歩くのが怖い。
- 大津ケ丘団地バス停先の道が行き止まりとなっている。何時通り抜けられるか。どんな計画なのか。通り抜けによる騒音はどうなるのか。
- 町バスを禁煙にしてほしい。
- ＜娯楽・レクリエーション＞
- ◎2丁目団地（第2管理組合）の桜は毎年4月第1日曜日に桜まつりを行い、前後の1週間ライトアップを行っている。
- ◎大津ケ丘中央公園のプールは、子どもプールと一般プールがあり、夏は子ども達、冬は冬鳥の憩いの場となり、和やかな場を作っている。
- ◎座間養魚場は身近な生活圏の中にある娯楽場で老若男女が気楽に釣りを楽しんでいる。
- ◎大津ケ丘中央公園は、早朝は散歩、昼間は幼児、夕方散歩と、1日中利用されている。
- ◎テニスコートのある大津ケ丘中央公園は藤ヶ谷の総合体育館、塚崎運動場、手賀の丘公園に並ぶ町内4大運動施設のひとつ。テニスコートは3面あり、夜間照明もある。
- ◎大津ケ丘中央公園の野球場は軟式のみだが、少年野球場として他県からの親善試合にも使われている。
- 大津ケ丘中央公園は中学生が暗くなってから溜まり場にして遊んでおり困る。
- ＜健康・保健・福祉＞
- ◎コミュニティセンターでは月1回地区社協で高齢者交流会を行っている。平成14年12月で100回目を迎えるが毎回50人前後のお年寄りに憩いの場を提供している。
- ◎桐友学園は大津ケ丘の開発以前から開園している知的障害施設である。学園、園児、地域住民が共存しており、大津ケ丘地区社協活動、大津ケ丘ふるさとまつりなどの地域活動にも積極的に参加をしている。
- ◎エリカマンションとグランシティは全棟エレベーター完備、高齢者社会に適合している。

- ◎公団の賃貸団地はアプローチまではバリアフリー工事が終わった。
- 他の公団分譲団地にはエレベーターがなく対策が望まれている。バリアフリー工事も未着手だ。
- あいみ保育園は早朝及び夜間保育も行っている。
- 大津ケ丘交番前で夕方、お年寄りの死亡交通事故があった。
- ＜地場産業（農業・商工業）＞
- ◎中央商店街の空き店舗を地域の福祉施設として活用する案が提起されているようだが実現の方向でぜひ検討してほしい。
- 中央商店街は閉店が多く活気がない。
- 中央商店街は入居当時は活気があったが伊勢角の開店により客の流れが変わり、沈滞化した。15店舗のうち8店舗が撤退し、5店舗が入れ替わったが3店舗が長い間空家のままとなっている。
- ＜コミュニティ＞
- ◎エリカマンションは沼南町で初めての高層マンションで、その当時としては画期的な集合住宅であった。マンションの住民の結束は強く、いろいろな催しをマンション内で行っている。
- ◎エリカマンションには「花の会」があり、緑地や花壇を管理。樹下への休憩ベンチの設置などにも取り組んでいる。
- ◎エリカマンションでは盆踊り、餅つき大会などのイベントを通じて、環境、コミュニケーションの維持に努めている。
- ◎1丁目の戸建て住宅では昔はバス旅行を行っていたが今はどうなのだろう。
- ◎3丁目戸建て住宅では町会活動として今年はバス旅行があった模様。
- ◎2丁目団地（第2管理組合）では緑の会が植栽ボランティアを行っている。かつては子ども会があったが消滅した。夏祭り、餅つき大会は例年行われている。
- ◎プロムナードは一番後にできた団地で4階建て4棟だけだが、夏祭りを開催している。これからのコミュニティづくりの活発化を期待したい。
- ◎大津ケ丘3-1の団地（第1管理組合）では「建物を管理するのは、そこに住む住民であり、住む人のコミュニケーションが良くなければ、良い団地の管理は難しい」との趣旨で管理組合の中に町内会を組織している。

- ◎大津ケ丘3-53の団地（第4管理組合）は6棟からなる中規模の団地で町内会もあり、夏まつり、餅つき大会などが開催されている。
- ◎スマイルジャンプやダブルダッチの指導者はアパートの住人だった。
- 第2団地は8棟からなる公団賃貸住宅。腰掛組みの若い人と居座り組みの高齢者たちの年代層に2分されている模様。自治会などの内部コミュニケーションの場もなく、問題点を抱えていないか心配。
- 大津ケ丘の西端にできた造成地は区画は、「大井」に入るが、生活圏は大津ケ丘。新たに入居する人達は地縁もない新住民であれば、余計に大井との縁は薄くなる。地図上で引く行政の線引きと、住民が自然発生的に結ぶコミュニケーションとの間に矛盾を感じる。
- 2丁目の戸建て住宅（2丁目町会）は、大津ケ丘に4つある戸建て住宅の一つで、一番小さいが皆をまとめる催しが残念。
- 「花ボラ会」のボランティア参加者は、一部の人達のような。
- アパートの中には町会に加盟していないところが多く、地域のコミュニティ結束に問題を起こしている。



大津ケ丘第一小学校



三峯神社の小さなほくら

(2) 大津ヶ丘地域行動計画

「地域診断カルテ」をもとに「地域の要望や提案」が検討された。その結果は、(表2-2-3)に示すとおりです。

表2-2-3 大津ヶ丘地域における要望及び提案

区 分	地域の主な課題	要望・提案
自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ・風早北部小学校では雑木林や斜面林が多く残っているし、野生生物も残っている。 ・大津ヶ丘第一小学校区では改修中の大津川と三峰神社近くからの眺望が良い。 ・湧水が福満寺、その下の集落、中の橋にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合学習の時間を対象に、地元の自然や環境の問題を地域と学校とでコミュニケーションをもつ場を作ろう。 ・直接学校に働きかける方が実りが早い。 ・教育の場を借りて地域の人も勉強する。 ・学校と地域とのコミュニケーションを育てる場を作っていきたい。
歴史文化	<ul style="list-style-type: none"> ・大津ヶ丘第一小学校区には見るべきものとしては三峰神社程度しかない。 ・風早北部小学校区には福満寺、香取神社、妙照寺、船戸古墳、阿弥陀様板碑、箕輪城址など見るものが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校にある遺跡出土品を整理するボランティアを始めよう。 ・生徒たちと郷土史探訪の時間をもとう。 ・史跡めぐりの解説ボランティアを立ち上げて、自らの勉強と共に学校や住民に利用してもらおう。
生活環境 ・公園	<ul style="list-style-type: none"> ・風早北部小学校区には、ゴミの不法投棄が見られる ・大津ヶ丘第一小学校区は、自己完結型で概ねゴミ収集がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・風早北部小学校区ではエコウォークがあっても良い。 ・基本的には町会等で内部処理。手に余る場合はシルバー人材センターの手を借りる方法もある。
交通・通学路	<ul style="list-style-type: none"> ・国道16号の渋滞、船橋・我孫子線・16号バイパスの車線増幅等、大きな問題があるが行政にお願いせざるをえない。 ・交番数、パトカー数等は微弱で当てにならない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・船橋・我孫子線の裏道を通学路としているか調査の必要あり。 ・不法駐車対策は町会、管理組合の内部問題として対処する以外に方法はない。夜間パトロールや駐車違反ステッカーの貼付、常習者ナンバーを地域広報で公示等の処置を取っている団体もある。
娯楽・レクリエーション	<ul style="list-style-type: none"> ・犬の糞問題はモラルの問題。犬を散歩させる当事者の問題であり、第三者にとってはお手上げ状態。 	<ul style="list-style-type: none"> ・被害者である第三者がパトロール隊を結成して現場を押さえるのも一案。 ・犬を散歩する当事者が自主的に解決する協議会を結成し、事態改善を図る活動をするのも一案。
健康・保健・福祉等	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社協の活動で住民主体の福祉の町づくりはできつつある。 ・介護制度に対する受け止め方は未だ複雑である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民として地区社協の活動を進める側に入っ、活動の充実を図るのが近道。 ・種々の状況下にある介護対象者に対して、その身になってアドバイスできる力量を私たちが付けねばならない。

地場産業	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーやコンビニは元気であるが、個人商店はますます元気をなくしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人商店をどうするか、エコマネー等を含めて検討しなければならないが、荷が重過ぎる。 ・商店街による割引広告等の声もあったが主体は商店街であり、体力を結集してどこまでできるかの議論が重要。
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ・町会、管理組合、個々の団体のコミュニティが良ければ、それらの集合体である地域全体のコミュニティも良くなる。 ・管理組合は財産管理を基本とするところ。町会組織にするのは難しい。 ・町会には未加入のアパート問題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の団体のコミュニティ活動である環境活動(ゴミゼロ、年末クリーン活動、ドブ清掃、雑草取り等)、催し物(ふるさとまつり、盆踊り、夏祭り、餅つき、花見、旅行等々)なども便宜に企画したい。 ・そこに住む人の総意が取れば可能であり、既に組織している所もある。 ・アパートは回覧を別ルートで配布している。(大津ヶ丘地区社協)
町全体のまちづくり体制	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社協の5地区と行政の中学校区の4地区が混在する組織上のネジレ現象が存在する。住民発意の街づくりを始めて10年以上を経過した今、町が4地区で街づくりをしようとしているところに無理が生じている。将来破綻する前に路線整備をしておく必要を切に訴える。 ・まちづくり研究会内部で議論したが現行政の大綱から外れるものであり解決しなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・議会答弁も、行政懇談会答弁も、4地区を維持する意向だった。ただ、将来的には小学校区を志向するとの答弁だった。 ・小学校区にしても現地区社協と調和するものではなく、地区社協において小学校区への移行検討は全く手が付けられていない。よってこの答弁はすり替え答弁として受け止めている。 ・懇談会の最後に学校区にこだわらずに、慎重な検討をと注文をつけて、一年後に回答されることになった。 ・住民がコミュニケーションを取りやすい地域単位を確立するのが住民主体のまちづくりに直結すると強調したい。

これら「地域の要望や提案」ふまえ、「住民が主体的に取り組むことが望まれる事業」を取り出し、整理したものが、(表2-2-4)に示す「行動計画(住民主体でこんなことから取り組んでみよう)」です。

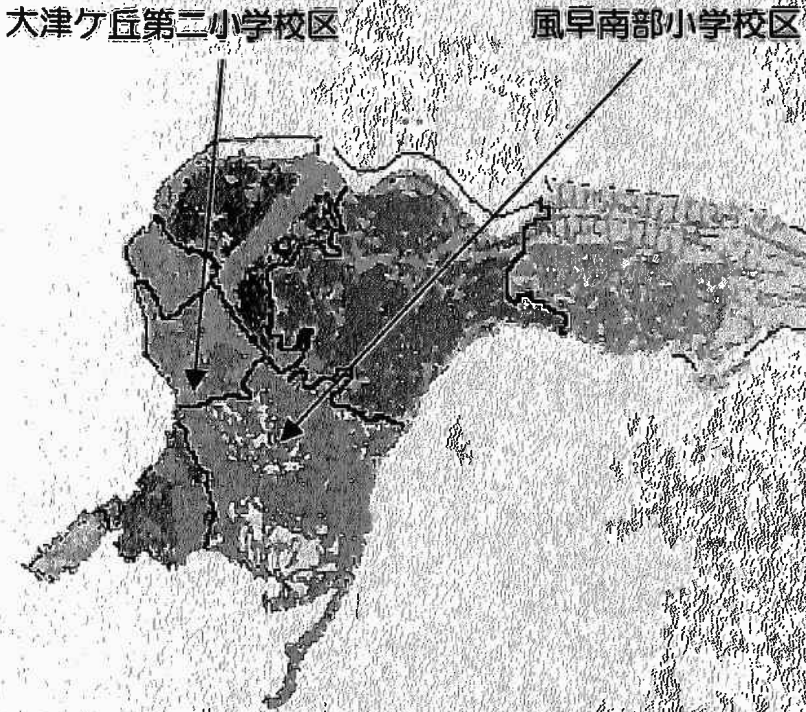
表2-2-4 大津ヶ丘地域における行動計画

(住民主体でこんなことから取り組んでみよう)

①自然環境の保全のために	・ 総合学習の時間を対象に、地元の自然や環境の問題について、地域と学校とでコミュニケーションをもつ場を作ろう。
②歴史文化の理解を深めるために	・ 学校にある遺跡出土品を整理するボランティアの開始、生徒達と郷土史探訪の時間を持つ、史跡めぐりの解説ボランティアを立ち上げることなどを考えてみよう。
③ゴミの不法投棄をなくすために	・ 風早北部小学校区のゴミ不法投棄をなくすため、エコウォークを考えてみよう。 ・ ゴミの不法投棄は基本的には、町会等で内部処理を、手に余る場合はシルバー人材センターの手を借りる方法も検討してみよう。
④通学路の安全確保のために	・ 船橋・我孫子線の裏道を通学路としているか調査をしてみよう。 ・ 不法駐車対策については、町会や管理組合の内部問題として対処するように努力しよう。
⑤犬の糞問題の解決のために	・ 犬の糞問題は、モラルの問題だが、被害者である第三者がパトロール隊を結成したり、犬を散歩させる当事者が協議会を結成して自主的に事態改善を図る活動に取り組むのも一案。
⑥地域の福祉力を高めるために	・ 地域の福祉力の向上を図るため、地区社協が中心となって活動の充実を、また介護対象者の身になってアドバイスできる力量を私たちが自身が身につけよう。
⑦商店街活性化のために	・ 商店街の活性化をエコマネー等含めて地域でも検討しなければならないが荷が重い。商店街が主体的に総力を結集して何処までできるかの議論が重要。
⑧コミュニティ活性化のために	・ 町会、管理組合、個々の団体のコミュニティの活性化を通じて、地域全体のコミュニティの活性化を図ろう。 ・ 管理組合はコミュニティ活動にも関心を、また町会に未加入のアパート問題の解消に取り組もう。
⑨住民発意の福祉のまちづくりを進めるために	・ 住民発意の福祉のまちづくりを推進するため、地区社協の5地区と、行政の中学校区の4地区が混在する組織上のネジレ現象の見直しを求めたい。

2-3 風早地域

平成 14 年度実施事業



(1) 風早地域診断カルテ

<風早南部小学校区>

ワークショップにより明らかになった風早南部小学校区における「主な現状と課題」は、次のとおりです。

①自然環境



- ・緑が豊かで空気もおいしい。

③土地利用



- ・国道16号線沿いは発展が著しいが、その他地区は市街化調整区域で、社会資本の投資も進まず、開発が遅れている。

④生活環境



- ・ゴミ処理や污水处理の施設が整備されて生活環境は改善された。しかし、放置自転車や空き地の雑草繁茂などの問題もある。

⑤自衛隊基地



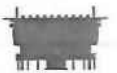
- ・防音工事区域外でも騒音で迷惑しており、防音工事区域の拡大を望みたい。また、基地の地域への開放をさらに促進してほしい。

⑦教育（学校・社会・生涯教育）



- ・地元の子どもは比較のおっとりして心豊かであるが、昨今、全く外で遊ばなくなっている。教育的な配慮からビデオ自販機は撤去してほしい。

②歴史文化



- ・持法院（彼岸花の名所、除夜の鐘）、善龍寺（名木：五葉松、除夜の鐘）、鮮魚街道常夜灯など歴史的な見どころがあるが、PR、案内、環境美化などが必要である。



善龍寺

⑥交通



- ・国道16号線、船橋・我孫子線、白井・流山線などの交通渋滞が激しい。駅から遠く、しかも交通の便が悪い。
- ・小中学校ともに通学距離が長い。通学路の安全確保が大きな課題である。



暗い通学路

⑧健康・保健・福祉

- ・農村部は比較的在宅福祉に対応できる状況にある。また地区社協による高齢者を対象とした交流会が月1回行われている。

⑩地場産業（農業・商工業）

- ・農業が主体の地域で、ねぎや大根などの生産が盛ん。「地場の野菜を食生活に活かしては」との声もある。

⑪コミュニティ

- ・地区によってコミュニティ組織は異なるがいろいろな活動に取り組んでいる。

風早南部小学校区の現状と課題の内、特定の場所に係わるコメントを地図上に記載したものが（図2-3-1）に示す「地域診断カルテ（マップ編）」です。また、これらを含めコメントを分野別に整理したものが、（表2-3-1）に示す「地域診断カルテ（コメント編）」です。



地区探検会でのコマ通学路をチェック！

⑨娯楽・レクリエーション

- ・沼南町総合体育館は活発に利用されているが、公園も含めてさらなる利用促進が望まれる。国道沿いには人気の食事処もある。



沼南町総合体育館



鮮魚街道常夜灯は、場所がわかりづらく案内看板が欲しい。

風早

善龍寺の五葉松は見事。幣（ほうぎ）に手入れがされている庭は安らげる。

五葉松・・・樹勢良好、天然記念物

善龍寺（高柳）・・・宗派は天台宗。寺は延暦寺（滋賀県）、元は泉倉寺。

楓樹・・・樹勢良好、天然記念物

香取神社から町民の森までの間は狭く、危険である。

知的障害者通所授産施設「わかたけ」が、保護者の元から通って働ける。適応力を養い、日常生活の中で働くことを目的としています。

高柳台幼稚園・・・小学校入学前の学習をする教育機関です。

香取神社（高柳）・・・高柳地区の（ふつ）主命（ぬしのみこと）。祭日は（秋分）、10月13日～15日（秋分）。

風早南部小の子ども達はおっとりしている（理由：3世代家族が比較的多い）

風早南部小の移転問題がある。（理の直下にある。非常に危険なため）

船橋・我孫子線の交通渋滞が激しい

ビデオ自販機を撤去してほしい。

地区外の子どもは飛行機に喜ぶが、迷惑。

御嶽神社・・・木曾の御嶽神社を祀る

高柳高校周辺の田園地区では、犬の散歩が盛ん。

地区全体

市街化調整区域なので家の増減が調整されていない。

社会資本の投下がぜんぜん進んでない。放置自転車が多く見られる。

私有地の雑草の草取りをお願いした。防音工事区域外でも騒音の苦情あり。

自衛隊が厚木に移る？（隊員500人）

駅にも遠く、非常に不便。交通手段にならざるを得ない。

農業従事者の高齢化が進んでいる。今の子どもは全く外で遊ばないよう姿がない。

地区全体

緑が豊かで空気が美味しい、自然環境も整備されている。

年1回の地区懇談会の他に老人会も農家は主にねぎや大根を作っている。地元の野菜を食生活に活かしたらとある。

平成15年3月31日現在

沼南町体育館は良く利用されている。（月利用者数：少ない時で約8千人、多い時で1万人、月利用団体：約40団体）

沼南町総合体育館は立派な施設でありながら意外に知られていない。体育館裏の公園の存在も余り知られていない。

スタミナ太郎は安いと評判である。

ガーデン藤ヶ谷ゴルフフレンジー・・・ゴルフ愛好者で賑わうゴルフ練習場

珍来のラーメンは、トラックの運転手にも人気がある。

国道16号沿線の発展が著しい。

国道16号の交通渋滞。原因：右折車線がない。例えば、高柳駅に入る所、パチンコニューヤマト、高柳区民会館近く等。

除夜の鐘がつける寺あり（持法院・善龍寺）。その後神明社へ初詣にでかける。

如意輪観音像・・・室町時代の作と推定される町指定文化財。

持法院（藤ヶ谷）・・・天台宗のお寺で、阿弥陀如来を祀る。本堂右手の観音堂に安置された「如意輪観音」は千葉常胤の夢に登場した伝説の秘仏がある。本寺は延暦寺（滋賀県）、元は泉倉寺（印西市和泉）

香取神社（藤ヶ谷）・・・藤ヶ谷地区の鎮守。祭神は経津（ふつ）主命（ぬしのみこと）。祭日は10月9日（秋祭り）

地区によってコミュニティ組織はいろいろあり（婦人会・さわやか会など）。

通学路が暗く、狭く、子ども達には非常に危険である。

藤ヶ谷十三塚（県指定文化財）・・・13仏思想に基づく史跡。

ケアハウス沼南（軽費老人ホーム）・・・原則として満60歳以上の方で、身の回りのことが自分でできる方が利用する施設です。また、この施設には保健・医療・福祉サービスの利用方法や介護に関する総合的な相談に応じる在宅介護支援センターが併設されており、居宅介護支援事業等も行っております。

文化財の鮮魚街道常夜灯は、場所がわかりづらく案内看板がほしい。

鮮魚街道常夜灯・・・紀元2539年（明治12年）の銘、町指定文化財。

小学校、中学校共に通学の距離がかなりある。1時間以上かかる場所もある。

軽井沢のゴミ処理場や污水处理場は近代的になり臭いも無くなった。

風早南部小学校区

善龍寺の五葉松は見事。箒（ほうき）の目が見えるくらいに手入れがされている庭は安らげる。

五葉松・・・樹勢良好、天然記念物

善龍寺（高柳）・・・宗派は天台宗、本尊は釈迦如来、本寺は延暦寺（滋賀県）、元は泉倉寺（印西市和泉）

楓樹・・・樹勢良好、天然記念物

香取神社から町民の森までの間は歩道が狭く、雑草も生えており、危険である。

知的障害者通所授産施設「わかたけ社会センター」・・・一般社会での就労が困難な知的障害者（満18歳以上）が、保護者の元から通って働ける場所です。就労に必要な適応力を養い、日常生活の中で社会生活能力を身に付けることを目的としています。

高柳台幼稚園・・・小学校入学前の子どもが、基礎的な学習をする教育機関です。

香取神社（高柳）・・・高柳地区の鎮守。祭神経津（ふつ）主命（ぬしのみこと）。祭日は1月7日（オビシャ）、10月13日～15日（秋祭り）

風早南部小の子ども達はおっとりしていて心豊かである。（理由：3世代家族が比較的多いからである）

風早南部小の移転問題がある。（理由：自衛隊機離着陸の直下にある。非常に危険なためである）

船橋・我孫子線の交通渋滞が激しい。

ビデオ自販機を撤去してほしい。

地区外の子供は飛行機に喜ぶが、住民にとって騒音は迷惑。

御嶽神社・・・木曾の御嶽神社を祀った神社です。

高柳高校周辺の田園地区では、犬の散歩の風景が多く見られる。

地区全体

市街化調整区域なので家の増減がずっとなく、家並みが整備されていない。

社会資本の投下がぜんぜん進んでない。

放置自転車が多く見られる。

私有地の雑草の草取りをお願いしたい。

防音工事区域外でも騒音の苦情あり。

自衛隊が厚木に移る？（隊員500人が300人に減っている）

駅にも遠く、非常に不便。交通手段は主には自転車や車にならざるを得ない。

農業従事者の高齢化が進んでいる。（兼業農家が主体）今の子どもは全く外で遊ばないようだ。街中に子どもの姿がない。

地区全体

緑が豊かで空気が美味しい、自然環境は最高。

周辺施設も整備されている。

年1回の地区懇談会の他に老人会もある。

農家は主にねぎや大根等を作っている。

地元の野菜を食生活に活かしたらという意見が出た事はある。

地図の色

- ・・・良いところ
- ・・・悪いところ
- ・・・提案・その他
- ・・・公共施設

- 川・沼
- 主要幹線道路
- 公園・緑地帯
- 小学校区境

沼南町総合体育館

宮後青年館

沼南町中央青果市場
沼南町の農産物収入では藤ヶ谷新田が優位を占めている。

風早南部小学校

ケーヨーゴルフセンター・・・ゴルフ愛好者で賑わうゴルフ練習場

小学校区前の通学路の歩道が狭い。

通称病漢道路と呼ばれている。鬱蒼（うつそう）と茂る大木を伐採して欲しい。

水道局横の道路は通学路だが幅員が狭く死角にもなっている。

白井・流山線の交通渋滞が激しい。

高柳塚越公園

藤ヶ谷ふれあい公園・・・地域住民に管理が任された公園で、名称も公募により決まりました。

下総航空基地・・・海上自衛隊下総航空基地は、面積240haで、海上交通の安全確保、港湾、海峡などの沿岸海域の防備を任務としています。また、私達の生活と直接的に結びついた災害（地震、集中豪雨、火災）などの緊急事態に、速やかに出動する体制になっています。

防音工事区域の拡大をして欲しい。線引きの見直し。

自衛隊基地の町民へのさらなる開放を促したい。（町民と隊員の融合。例えば、祝祭日、休日の施設の開放など）

クリーンセンターしらさぎ

平成15年3月31日現在

沼南町体育館は良く利用されている。（月利用者数：少ない時で約8千人、多い時で1万人、月利用団体：約40団体）

沼南町総合体育館は立派な施設でありながら、意外に知られていない。体育館裏の公園の存在も余り知られていない。

スタミナ太郎は安いと評判である。

ガーデン藤ヶ谷ゴルフレンジ・・・ゴルフ愛好者で賑わうゴルフ練習場

珍来のラーメンは、トラックの運転手に人気がある。

国道16号沿線の発展が著しい。

国道16号の交通渋滞。原因：右折車線がない。例えば、高柳駅に入る所、パチンコニューヤマト、高柳区民会館近く等。

除夜の鐘がつける寺あり（持法院・善龍寺）。その後神明社へ初詣にてかける。

如意輪観音像・・・室町時代の作と推定される町指定文化財。

持法院（藤ヶ谷）・・・天台宗のお寺で、阿弥陀如来を祀る。本堂右手の観音堂に安置された「如意輪観音」は千葉常胤の夢に登場した伝説の秘仏がある。本寺は延暦寺（滋賀県）、元は泉倉寺（印西市和泉）

香取神社（藤ヶ谷）・・・藤ヶ谷地区の鎮守。祭神は経津（ふつ）主命（ぬしのみこと）。祭日は10月9日（秋祭り）

地区によってコミュニティ組織はいろいろあり（婦人会・さわやか会など）。

通学路が暗く、狭く、子ども達には非常に危険である。

藤ヶ谷十三塚（県指定文化財）・・・13仏思想に基づく史跡。

ケアハウス沼南（軽費老人ホーム）・・・原則として満60歳以上の方で、身の回りのことが自分でできる方が利用する施設です。また、この施設には保健・医療・福祉サービスの利用方法や介護に関する総合的な相談に応じる在宅介護支援センターが併設されており、居宅介護支援事業等も行っております。

文化財の鮮魚街道常夜灯は、場所がわかりづらく案内看板がほしい。

鮮魚街道常夜灯・・・紀元2539年（明治12年）の銘、町指定文化財。

小学校、中学校共に通学の距離がかなりある。1時間以上かかる場所もある。

軽井沢のゴミ処理場や汚水処理場は近代的になり臭いも無くなった。

表2-3-1 風早南部小学校区の地域診断カルテ（コメント編）

凡例	◎：良いところ（保全・活用・強調したい） ●：悪いところ（改善・除去したい）
<p>＜自然環境＞</p> <p>◎緑が豊かで空気が美味しい、自然環境は最高。</p> <p>◎高柳高校周辺の田園地区では、犬の散歩の風景がよく見られる。</p> <p>＜歴史文化＞</p> <p>◎持法院は彼岸花の名所として発展してほしい。もっと掃除をすれば良い。</p> <p>◎善龍寺の五葉松は見事。幣（ほうぎ）の目が見えるくらいに手入れがされている庭は心が安らぐ。</p> <p>◎除夜の鐘がつける寺あり（持法院・善龍寺）。その後、神明社へ初詣にでかける。</p> <p>●文化財の鮮魚街道常夜灯は、場所がわかりづらく案内看板がほしい。</p> <p>＜土地利用＞</p> <p>◎国道16号沿線の発展が著しい。</p> <p>●市街化調整区域なので家の増減がずっとなく、家並みも整備されていない。</p> <p>●社会資本の投下が全々進んでない。</p> <p>＜生活環境＞</p> <p>◎軽井沢のゴミ処理場や污水处理場は近代的になり、臭いもなくなった。</p> <p>◎周辺施設も整備されている。</p> <p>●放置自転車が多く見られる。</p> <p>●私有地の雑草の草取りをお願いしたい。</p> <p>＜自衛隊基地＞</p> <p>◎自衛隊が厚木に移る？（隊員500人が300人に減っている）</p> <p>●地区外の子どもは飛行機に喜ぶが、住民にとって騒音は迷惑。</p> <p>●防音工事区域外でも騒音の苦情あり。</p> <p>●防音工事区域の線引きの見直し、拡大をしてほしい。</p> <p>●自衛隊基地の町民へのさらなる開放を促したい。（町民と隊員の融合。例えば、祝祭日、休日の施設の開放など）</p> <p>＜交通＞</p> <p>●駅にも遠く、非常に不便。交通手段は主には自転車や車にならざるを得ない。</p> <p>●船橋・我孫子線の交通渋滞が激しい。</p> <p>●白井・流山線の交通渋滞が激しい。</p> <p>●国道16号の交通渋滞。原因：右折車線がない。例えば、高柳駅に入る所、パチンコニューヤマト、高柳区民会館近く等。</p> <p>＜通学路＞</p> <p>●水道局横の道路は、通学路だが幅員が狭く死角にもなっている。</p>	<p>●小学校区前の通学路の歩道が狭い。</p> <p>●小学校、中学校共に通学の距離がかなりある。1時間以上かかる場所もある。</p> <p>●通学路が暗く、狭く、子ども達には非常に危険である。</p> <p>●通称「痴漢道路」と呼ばれている。うっそうと茂る大木を伐採してほしい。</p> <p>●香取神社から町民の森までの間は歩道が狭く、雑草も生えており、危険である。</p> <p>＜娯楽・レクリエーション＞</p> <p>◎沼南町総合体育館は良く利用されている（月利用者数：少ない時で約8千人、多い時で1万人、月利用団体：約40団体）</p> <p>◎スタミナ太郎は安いと評判である。</p> <p>◎珍来のラーメンはトラックの運転手に人気がある。</p> <p>●沼南町総合体育館は立派な施設でありながら意外に知られていない。体育館裏の公園の存在も余り知られていない。</p> <p>＜健康・保健・福祉＞</p> <p>◎農村部は比較的在宅福祉に対応できる状況にある。その辺が新興住宅地とは違う。</p> <p>◎地区社協による高齢者65歳以上の交流会を月1回行っている。（手芸、体操の一種である自ぎょう術、食事等）</p> <p>＜コミュニティ＞</p> <p>◎地区によってコミュニティ組織はいろいろある（婦人会・さわやか会など）。</p> <p>◎年1回の地区懇談会の他に老人会もある。</p> <p>＜地場産業（農業・商工業）＞</p> <p>◎農家は主にねぎや大根等を作っている。</p> <p>◎地元の野菜を食生活に活かしたらという意見が出た事はある。</p> <p>◎農産物収入が沼南町では藤ヶ谷新田が優位を占めている。</p> <p>●農業従事者の高齢化が進んでいる。（兼業農家が主体）</p> <p>＜子育て・教育＞</p> <p>◎風早南部小学校の子ども達はおっとりしていて心豊かである。その理由は三世代家族が比較的多いからである。</p> <p>●ビデオ自販機を撤去して欲しい。</p> <p>●今の子どもは全く外で遊ばないようだ。街中に子どもの姿がない。</p> <p>●風早南部小学校の移転問題がある。（理由：自衛隊機離着陸の直下にある。非常に危険なためである）</p>

＜大津ヶ丘第二小学校区＞

ワークショップにより明らかになった大津ヶ丘第二小学校区における「主な現状と課題」は、次のとおりです。

①自然環境・眺望



- ・自然が豊かで、のどかな田園風景が広がり、あちこちでカワセミ、キジ、タヌキ、ワシ、アオバズク、シラサギ、カモなどの小動物や野鳥を見ることが出来る。しかし、大津川沿いには雑草の繁茂、荒れた田圃、野菜の不法投棄などが見られる。



大津川

③生活環境



- ・外灯がなく夜間の一人歩きが不安な道が少なくない。放置自転車やゴミの不法投棄のある場所がある。地区にコンビニができて便利になった。



外灯がない道路

②歴史文化



- ・由緒ある神明社は地域の誇り。その他にも宗賢寺、寿量院、立派な長屋門のある農家などの見どころがある。



神明社

④公園



- ・塚崎総合運動場や公園が多く、恵まれている。しかし、小さな公園の中には、手入れが行き届かない公園も少なくない。また町民プールの利用促進も課題である。



塚崎総合運動場

⑤交通



- ・道路状況の改善、外来者の多い施設周辺の路上駐車の解消、バスの利便性の改善などが課題である。
- ・いこい荘付近の通学路の安全確保が課題である。



道路の上の障害物

⑦娯楽・レクリエーション



- ・オートバックス・カーズでは映画が鑑賞できる。



オートバックス・カーズ

大津ヶ丘第二小学校区の現状と課題の内、特定の場所に係わるコメントを地図上に記載したものが、(図2-3-2)に示す「地域診断カルテ(マップ編)」です。また、これらを含めコメントを分野別に整理したものが、(表2-3-2)に示す「地域診断カルテ(コメント編)」です。

⑥健康・保健・福祉



- ・老人福祉センター(いこい荘)へは福祉循環バスの便もあり、高齢者にとっては使い勝手が良い。

⑧コミュニティ



- ・コミュニティ活動の拠点として塚崎公民館が活用されている。農協まつりの復活が望まれる。



大津ヶ丘第二小学校区

地図の色	川・沼
..... 良いところ	主要幹線道路
..... 悪いところ	公園・緑地帯
..... 提案・その他	小学校区境
..... 公共施設	

中谷津公園（二小前）は遊具が使用されていない様子、ゴミの散乱が目立つ。

中谷津公園に道祖神や文化財などあり

東洋眼科は患者数に比べ駐車場が狭いので道路にはみ出していることが多い。

風早幼稚園は駐車場がなく毎日送り迎えのため道の両側に駐車している。行事の時だけでも駐車場を確保して欲しい。

団地4丁目のしだれ桜は見事。

団地松林にきのこが出る。

4丁目バス停付近 駐輪場に壊れた自転車などの放置あり、またゴミもある。

伊原養魚場付近に一旦停止がほしい。

養魚場の上手の林 カワセミ、キジ、タヌキ、ワシなど集まって自然が多い。

鉄鋼所の竹やぶあたりは、対向車がある場合危い。

宗賢寺（日蓮宗）はお堂が新しくなった。

くすの木公園は草が繁って汚い。

寿豊院はほけ防止のご利益がある。除夜の鐘。

吉場商店から逆に抜ける道路が狭くて交通量が多いため非常に危険です。早急に整備して頂きたい。

塚崎区民会館は、お葬式には使えなくなったが地域の会合とかサークルの集まり等に利用できる。（台所で調理できる、冷暖房設備あり、駐車場は4～5台）

アオバズクが住んでいる壽豊院の玄園梨は、町の天然記念物になっている。樹齢170年

守さん宅の長屋門は立派。

町民プールは深くて、管理が悪いため利用者が少なくなっている。ゴミが多い。

塚崎総合運動場は、夜間照明付の野球場として近隣にアピールしてはどうか。テニスコートにも照明をつければ利用者が増えると思う。

神明社は毎年10月17日の大祭では、十二座神楽を奉納。（午前と午後2回舞う）1湯釜の舞い、2天女巫女舞の舞い、3狐の舞い、4猿田彦の舞、5餅投げの舞い。（二小の2、3年生が見学）

神明社では大晦日・元旦に甘酒・お酒が振舞われる。人出も多い。

大津ヶ丘第二小学校

社会福祉センター

老人福祉センター

風早中学校

老人福祉センター「いこい荘」付近は通学路が人の通りと車の通行で歩道がせまく危険です。

吉場牛乳前の雑木が通行の邪魔になって危険。

シバサキ酒店の後ろの道路は夜間真暗、外灯が欲しい。

JA風早では、以前に農協まつりを地域のお祭りとしてやっていた。復活できないだろうか。（盆踊り大会等）

永田歯科は駐車場がなく、路上駐車がが多い。カーブにあるためとても危険である。

地区にコンビニがあると便利。（セブンイレブンが閉店したので不便になった）

優動物病院は、駐車場がないので路上駐車がが多い。

ライコランド付近は、休日、車の出入りが激しく、付近の住宅が迷惑している。

大島田尾田公園は自然が残っている。しかし屋間でもちょっと暗い感じ。

「シマ」ビル後ろに放置自転車あり。

風早中学校 昔の「若人の森」を地主に返したあとゴミの不法投棄が多くなっている。（風中としてはどうしようもない）

マーケット「オリンピック」屋上の駐車場から富士山がよく見える。

オートボックス・カーズでは映画が見られる。

沼地の中の山桜は見事。

老人福祉センター「いこい荘」下の溜池はほっとする憩いの場、アオサギやカモも飛来する。

老人福祉センター「いこい荘」から軽井沢行きのバスが出ている。老人が1日楽しく過せる様な設備が整っている。

各地域にある小さい公園は、管理が行き届いていないので荒れている。町で管理できないのであれば地域で管理する方向にもっていかないか。そこで地区の祭りを。

表2-3-2 大津ヶ丘第二小学校区の地域診断カルテ（コメント編）

凡例 ◎：良いところ（保全・活用・強調したい） ●：悪いところ（改善・除去したい）

<自然環境>

- ◎団地4丁目のしだれ桜は見事。
- ◎養魚場の上手の林はカワセミ、キジ、タヌキ、ワシなど集まって自然が多い。
- ◎団地松林にキノコが出る。
- ◎近くにアオバズクが住んでいる寿量院の玄圃梨は樹齢170年以上で町の天然記念物になっている。
- ◎大津川沿いの田んぼに飛来する白サギ。
- ◎老人福祉センター「いこい荘」下の溜池はほっとする憩いの場、アオサギやカモも飛来する。
- ◎沼地の中の山桜は見事。
- ◎田園ののどかな風景は良い。
- ◎ジュズ玉の草があちこちに残っている。保存することはできないか。
- ◎マーケット「オリピック」屋上の駐車場から富士山が良く見える。
- 大津川沿いは雑草が茂り危険。田んぼも荒れ放題である。野菜の不法投棄もあり。
- 寿量院の玄圃梨は自然のものが開発でなくなっている。（昔はかぶと虫など沢山いた）

<歴史文化>

- ◎宗賢寺（日蓮）はお堂が新しくなった。
- ◎神明社は毎年10月17日に大祭あり。（午前と午後2回舞う）1湯笹の舞い、2天宇受女命の舞い、3狐の舞い、4猿田彦の舞、5餅投げの舞い。（二小の2、3年生が見学）
- ◎中谷津公園に道祖神や文化財などあり。
- ◎守さん宅の長屋門は立派。
- ◎神明社では大晦日・元旦に甘酒・お酒が振舞われる。人出も多い。
- ◎寿量院はボケ防止のご利益がある。除夜の鐘。

<生活環境>

- シバサキ酒店の後ろの道路は夜間真暗なため街灯が欲しい。
- 街灯はなく、昼間でもうっそうとして暗い、木の枝が電線を被っている。
- 全体的に街灯が少ないので夜間の一人歩きは勇気が必要。
- 4丁目バス停付近の駐輪場は壊れた自転車などの放置がありまたゴミもある。
- 「シマ」ビル後ろに放置自動車あり。

- 風早中学校庭横の雑木林はゴミ捨て場になっている。
- 風早中学校付近にある昔の“若人の森”を地主に返したあとゴミの不法投棄が多くなっている。（風中としてはどうしようもない）
- 地区にコンビニがあると便利。（セブンイレブンが閉店したので不便になった）

<交通>

- 吉場牛乳前の雑木が通行の邪魔になって危険。
- 道路が狭い。
- 鉄鋼所の竹やぶあたりは、対向車がある場合危ない。
- 伊原養魚場付近に一旦停止が欲しい。
- 塚崎（船取～大津ヶ丘4丁目）に抜ける道は見通しは良いが車のスピードが出やすい。
- ライコランド付近は、休日車の出入りが激しく、付近の住宅が迷惑している。
- 若塚商店前の雑木の枝が通行の妨げ。
- 毎週火曜日にオークションされる「シーエーエー東京」では車の出入りが多い。
- 東洋眼科は患者数に比べ駐車場が狭いので道路にはみ出していることが多い。
- 永田歯科は駐車場がなく、路上駐車が多数。カーブにあるためとても危険である。
- 風早幼稚園は駐車場がなく毎日送り迎えのため道の両側に駐車している。行事の時だけでも駐車場を確保して欲しい。
- 吉場商店から逆に抜ける道路が狭く、しかも交通量が多いため非常に危険。早急に整備してほしい。
- 優動物病院は駐車場がないので、路上駐車が多数。
- バスの交通の便が悪い。

<通学路>

- 老人福祉センター「いこい荘」付近の通学路は歩道が狭く危険。

<公園>

- ◎大島田尼田公園は自然が残っている。しかし昼間でもちょっと暗い感じ。
- ◎塚崎総合運動場は、夜間照明付の野球場として近隣にアピールしてはどうか。テニスコートにも照明をつければ利用が増える。
- 中谷津公園（大津二小前）は遊具が使用されてない様子、ゴミの散乱も目立つ。

- くすの木公園は草が繁って汚い。
- 各地域にある小さい公園の管理が行き届いていないので荒れている。町で管理できないのであれば地域で管理する方向に持っていけないか。そこで地区の祭りの開催を。
- 町民プールは深くて、管理が悪いため利用者が少なくなっている。ゴミも多い。
- ＜医療・保健・福祉＞
- ◎老人福祉センター（いこい荘）から軽井沢行きの福祉循環バスが出ている。老人が1日楽しく過せる様な設備が整っている。
- ＜娯楽・レクリエーション＞
- ◎オートバックス・カーズでは映画が見られる。
- ◎庭にお茶の木を植え昔はお茶を作っていた。



寿量院の玄圃梨（けんぼなし）

- ＜コミュニティ＞
- ◎塚崎区民会館は、お葬式には使えなくなったが地域の会合とかサークルの集まり等に利用できる。（台所で調理ができる、冷暖房設備があり、駐車場は4～5台）
- JA 風早では、以前に農協まつりを地域のお祭りとしてやっていた。復活できないだろうか。（盆踊り大会等）
- ＜その他＞
- 若い人は成人すると沼南町から出ていく。



養魚場

（2）風早地域行動計画

＜風早南部小学校区＞

「地域診断カルテ」をもとに話し合われた風早南部小学校区における「地域の要望や提案」を整理すると、（表2－3－3）のようになります。

表2－3－3 風早南部小学校区における地域の要望・提案

区 分	地域の主な課題	要望・提案
自然環境	・大津川のごみ投棄と水質の悪さの改善	・年に1回程度河川ごみの回収等の清掃をする。 ・現在河川改修の工事中であるが、県の管理下での浄化の見込みや町内のゴミ推進委員の監視活動などがあるので徐々に改善される予定。 ・河川敷に植樹をし観光客の誘致など町おこしの一案とするのが良い。
交通・通学路	・船橋・我孫子線、国道16号線などの渋滞問題や地域での交通の不便さの緩和	・香取神社から町民の森までの船橋・我孫子線沿いの歩道が狭く自転車での走行などは非常に危険で早急に拡張を望む。 ・水道局の横の道路は風早南部小学校の通学路だが、幅が狭くまた死角にもなっているため、安全への対策を望む。 ・通学路の整備が必要だが、道路の拡張などは長期的な問題にならざるを得ない。また通学路にあるいかのわしい自販機については、設置者の自主規制に委ねざるを得ないものがあり難しい。
公園	・「藤ヶ谷ふれあい公園」に日除けや寒風をさえぎる物の整備	・この公園は町の補助金で住民により自主管理されているが地域住民の声として要望を続けていきたい。
自衛隊基地	・基地の騒音問題	・防音工事区域の拡大見直しなどの要望もあり、現在住民と話し合い中。（国と県の施策に委ねざるを得ないのか）
	・風早南部小学校の移転問題	・離着陸機の真下に学校があるため、非常に危険であるが、現在移転に向けて関係機関と住民等が話し合いを行っている。
	・基地内の施設の開放	・自衛隊基地内を町民への更なる開放を促したい。（町民と隊員の融合、例えば祝日や休日の施設の開放など）

これら地域の要望や提案の多くは、行政に要請するものや行政と協働して取り組む事業が中心で、あえて住民が主体的に取り組む「行動計画（住民主体でこんなことから取り組んでみよう）」はまとめられてはいませんが、該当するものとしては、自然環境に関する次の2つの事業があがっています。

自然環境	①大津川の環境改善のため、年1回程度、河川ごみの回収など清掃をしよう。清掃後、花などを植え、ゴミが捨てづらい環境整備や看板の設置などを試してみよう
	②河川敷に植樹をし、観光客の誘致など町おこしにも結びつけていこう。

＜大津ヶ丘第二小学校区＞

「地域診断カルテ」をもとに話し合われた大津ヶ丘第二小学校区における「地域の要望や提案」を整理すると、（表2－3－4）のようになります。

表2－3－4 大津ヶ丘第二小学校区における地域の要望・提案

区 分	地域の主な課題	要望・提案
交通・通学路	・交通渋滞の緩和や交通の利便性の向上	・逆井へ抜ける道の交通量の多さと幅員狭さに関しては町の施策で徐々に拡張されているが、途中危険箇所については早急な対応を望む。
	・4丁目バス停付近の駐車場の放置自転車の解消	・放置自転車の回収を行政が実施しているのであれば、定期的に回収をして欲しい。また、保管している（高柳消防署裏）事を何らかの方法（町広報紙などの利用）で町民に周知するよう考えて欲しい。ただ警察との関係が判断できないので、難しい面もある。
	・学校や幼稚園、医院付近の迷惑駐車 の解消	・地域住民の問題として学校、幼稚園等関係機関に直接申し出る。また、地域交通ボランティアに相談をする。
	・老人福祉センター（いこい荘）付近の通学路の改善	・道路の拡張に関しては、すぐは対処が取れないので学校の指導に現状は頼らざるを得ない。
	・伊原養魚場付近の一時停止の設置	・現在、町に要望を申請中。
	・交通の妨げになる私有地の雑草や木の枝などの処置	・道路端にはみ出したり通行の妨げになる木の枝、あるいは生い茂った雑草などを目にしたり、住民からの要望があった時は、土地の所有者に行政側から連絡して善処を促してほしい。
生活環境	・散歩中の犬の糞問題や野良猫の増殖問題	・町広報紙や回覧等で飼い主のモラルの向上を訴えてほしい。また、野良猫にむやみに餌を与え、野良猫が増える一方の状況に対し増殖を防ぐ手立てを検討し、対策を実施してほしい。
公園	・塚崎運動公園内テニスコートにおける夜間照明の設置	・利用率など検討してみる必要がある。 ・野球場については、夜間照明が既に設置されているので、町内外への周知を促進し、大いに利用してもらう方がよい。
	・塚崎町民プールの改善	・夏の利用状況を確認し、利用率が悪ければ別の利用の仕方も含めて存続の有無を検討してみてもどうか。（プールの利用以外防火用水の貯水槽として必要とされているのであれば別だが）
	・きめ細かな公園の管理	・2年前から行政施策として公園の見回りを実施しているが、雑草が生い茂げったり、ゴミが散乱しているのが状況。遊具の点検など定期的に巡回し、こまめに公園管理を。
地場産業	・買い物の利便性の向上	・過疎地域への商店誘致については具体化が難しいので当面は、移動販売車などの利用で対応せざるを得ない。過疎地域への商店進出の促進を期待したい。

町のPR	・町内施設の有効利用や観光利用できるような施設のPR	・パンフの配布等も考えられるがPRの目的を見据えた方法で実施してみてもは。 ・町内でシャトルバスを運行することを検討してみてもは？－利用率の低さの問題がある。
コミュニティ	・地区のボランティア体制の充実、	・地区のボランティア制度を充実するための支えあい活動（例：地域通貨のようなもの）を新たな制度として検討してみてもはどうか。 （現在学習会を開き、運用方法を検討中）
	・地区社協と行政の連携	・行政と地区社協が連携して運営していけば、より行き届いた支援体制が整うのでは？ （行政側の中学校4分割に対し、地区社協の5分割の支援体制があるためキメの細かな運営に困難さややりにくさが生じるのでは？）

これら地域の要望や提案の多くは、行政に要請するものや行政と協働で取り組む事業が中心で、あえて住民が主体的に取り組む「行動計画（住民主体でこんなことから取り組んでみよう）」はまとめられていませんが、該当するものとして福祉に関する次の事業があがっています。

福祉	・地区のボランティア制度を充実し、支えあい活動を進めよう （現在、地域通貨に関し、学習会を開き、運用方法を検討中）
----	--



神明社の大祭での舞い



神明社の大祭

2-4 高柳地域

平成15年度実施事業

高柳西小学校区

高柳小学校区



(1) 高柳地域診断カルテ

<高柳小学校区>

ワークショップにより明らかになった高柳小学校区における「主な現状と課題」は、次のとおりです。

①自然環境



- ・高柳は比較的自然が残っているが、汚れが目立つ大津川については浄化対策の推進や町民のいこいの場となるような整備が望まれる。



昔は清流 大津川

②歴史文化



- ・遺跡、福寿院、庚申塔、馬にまつわる歴史など、ふるさとの歴史文化に係わるものを大事に保全するとともに、もっと活用することが必要。



富士塚

③住宅地景観



- ・高南台は街並みが良く整備されている。そうした街にふさわしく、各家庭において花いっぱい運動や軒先清掃運動を広げたい。

④生活環境



- ・高柳駅前の駐輪場やゴミ集積場などは良く管理されているが、ゴミのポイ捨てや調整池に不法投棄された粗大ゴミなどの対策が必要。

⑤防犯・防災・風紀



- ・防犯対策として、通学路で挨拶を交わす活動を進める他、学校・住民・警察などと連携し、地域ぐるみで防災体制を作り上げたい。加えて、ハード面では防犯灯や外灯の整備が課題である。
- ・防災時の避難誘導標識類の点検・整備を進めてほしい。
- ・学校によるパトロールに加えて、町ぐるみで青少年の健全育成に取り組みたい。

⑥交通



- ・交通渋滞の緩和や歩行者の安全のため、狭い道路や歩道のない道路の整備、通行規制などの諸対策を進めてほしい。また、公共交通（バス）の利便性を高めてほしい。



危険な道路

高柳小



⑦健康・保健・福祉

- ・ふれあいサロンをPRし、健康づくりの場としてその活用を促したい。また、児童・生徒と高齢者が交流する機会を増やしたい。



ふれあいサロン

⑨地場産業（農業・商工業）

- ・本地域が、なし、ねぎ、かぶなどの産地であることをもっとPRしたい。

⑩娯楽・レクリエーション

- ・地区の公園にはさびが目立つ屑かごやスベリ台、あるいは砂のない砂場などが放置されており、手入れが必要である。



さびが目立つスベリ台

高柳小学校区の現状と課題の内、特定の場所に係わるコメントを地図に記載したものが、(図2-4-1)に示す「地域診断カルテ(マップ編)」です。また、これらを含めコメントを分野別に整理をしたものが(表2-4-1)に示す「地域診断カルテ(コメント編)」です。

⑧教育（学校・社会・生涯教育）

- ・地域には活発に活動する団体がいろいろあることから、学校とも連携し、青少年の健全育成を促進したい。また高柳小学校及び高柳中学校を小・中学校一貫教育モデル校にしてほしい。



クリーン作戦

⑪コミュニティ

- ・高柳コミュニティセンターは町の核的存在、高柳祭りは地域のメインイベント。あいさつ運動、花いっぱい運動、交通安全運動などを通じて住み良いまちづくりの推進を図りたい。そのためには活動団体の連携が望まれる。



高柳コミュニティセンター

松戸市から沼南町に入るところの道路が高柳に
なっており、交通事故が多発している。

調整池に冬、鴨、鷺などの野鳥が飛来する2ヶ
、清

調整池は年2回の草刈は行っているが、ま
まれたと思われる自転車・樹木等大型廃
同時に排除してほしい。

小・中学生の登校時安全を守る高柳交通
進隊員の活動。

現在話題となっている小・中学校一貫教育
モデル校として高柳小と高柳中がなってい

区内各所の道路に歩道のない場所多数あり
に高柳小・中学校付近の道に歩道の設置
に望まれる。

道路は松戸市内だが下水ふたには沼南町
クあり、またそのふた部分が凹んでいる。
車の通行時振動が激しく住宅に伝わる。

高柳駅近くにある駐輪場(4ヶ所)はシ
の方々のおかげで整理が出来ている(平成
年9月26日調査、駐輪台数1576台)

駐輪場は高柳駅西側にはなく、東側に集
いるが利用人口は西側の方が多い。また
市、松戸市の人利用も多数ある。

平成15年3月4日から開通した踏み切り
道路は、①大型車通行止めなのに、通行車
道路沿いの家は振動大。②通行車両も多く
ビートを出しすぎの車が多く、事故件数
月間で20件と非常に危険である。(役場
察もいろいろと努力はしてくれているが)

中島自治会では、環境整備を全家庭参加
う事により一体感が生まれた。

平成15年3月4日をもって閉鎖された東武
踏切。

高柳・六実高校の生徒が通学路の清掃をし
る。

人及び自転車(バイク)通行可の踏切の標
錆びてしまい見苦しい。

駐輪場脇の道路に自動車を放置していく
人数見受けられる。利用者のマナーも悪い
輪場の増設が望ましい。

高柳駅附近のゴミ、集積所はきちんと分別
されている。

道の側溝の蓋が壊れている。(特に高柳駅
歩道がないところを優先的に設置してほ

公園としては、いかにも狭く貧弱すぎる。
柳南台公園)

高柳コミュニティセンターを利用して、各種の健
康体操を教えている。

高柳に児童ルームがあるのが素晴らしい。

児童ルームの隣に地域活動室、その隣にふるさと
歴史コーナーと素晴らしい部屋があるので大いに
活用してほしい。

「初乗り」の跡は高柳地区特有の行事で、正月2
日に農耕馬を飼っている家では、真新しい腹掛を
して鈴を鳴らしながら福寿院に初詣した。それか
ら馬渡しの馬乗場で40〜50頭が勢ぞろいした。
この地は掘込山(ほっこめやま)と呼ばれ今も残っ
ている。鉄道が建設されるまで続いていた。

高柳地区唯一の文化財(福寿院観音堂)
高柳学校、風早南部小学校発祥の地は、福寿院
である。
本尊11面観世音をはじめ、絵馬、みこし、彫刻
等とともに風早南部小学校発祥の地としても後
世に残したい。

沼南高柳高校生の登校ラッシュ(マルヤ前歩道)

原堂にある区民会館は「ハランドウ」の地名にも
なったお堂の跡に建設された。

庚申様の整備が良く、大切にされている。2ヶ月
に一度、老人会会員が参拝、同時に献花、清掃を
行っている。

大津川は昔は清流、現在は汚濁化している。川を
整備、浄化し、遊歩道等町民にいい場所が作れ
たらよい。

高柳小学校区

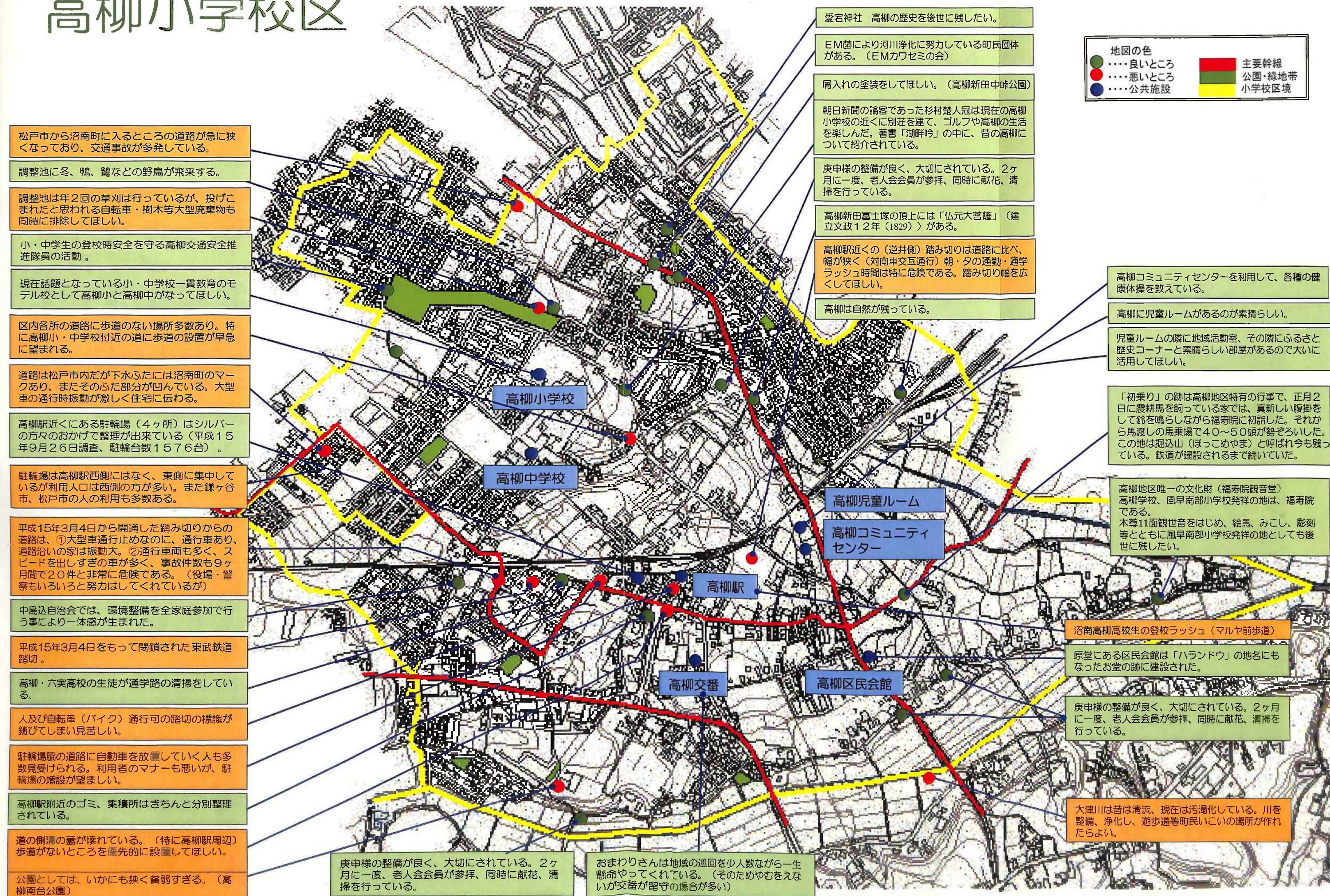


表2-4-1 高柳小学校区の地域診断カルテ（コメント編）

凡例 ◎：良いところ（保全・活用・強調したい） ●：悪いところ（改善・除去したい）

<自然環境>

- ◎冬になると調整池には、カモやサギなどの水鳥が飛来する。
- ◎高柳には、このように自然が残っているところがある。
- ◎EM菌により河川浄化に努力している町民団体としてEMカワセミの会がある。
- 大津川は昔は清流、現在は汚濁化している。川を整備、浄化し、遊歩道等、町民いこいの場所が作れたらよい。

<歴史文化>

- ◎庚申（コウシン）様が大切にされている。2ヶ月に一度、老人会会員が参拝、同時に献花、清掃を行っている。
- ◎児童ルーム隣には地域活動室とふるさと歴史コーナーがあるので大いに活用したい。
- ◎福寿院には高柳地区唯一の町指定文化財（十一面観世音と観音堂）他、絵馬、みこし、彫刻等がある。
- ◎福寿院は、高柳学校や風早南部小学校発祥の地でもある。
- ◎原堂にある区民会館は、「ハランドウ」の地名にもなったお堂の跡に建設された。
- ◎「初乗り」は高柳地区特有の行事で、正月2日に農耕馬を飼っている家では、真新しい腹掛をして鈴を鳴らしながら福寿院に初詣した。それから馬渡しの馬乗場で40～50頭の馬が勢ぞろいした。この地は掘込山（ホッコメヤマ）と呼ばれ今も残っている。鉄道が建設されるまでこの行事は続いていた。
- ◎温暖な気候に恵まれた高柳には縄文時代から多くの人々が生活していた。私達の周囲には高柳遺跡、高柳南遺跡、中島入第2遺跡がある。町に看板表示をお願いしたい。
- ◎高柳新田富士塚の頂上には「仏元大菩薩」（文政12年、1829年建立）がある。
- ◎朝日新聞の論客であった杉村楚人冠は、現在の高柳小学校の近くに別荘を建て、ゴルフや高柳の生活を楽しんだ。著書「湖畔吟」の中に、昔の高柳について紹介されている。
- ◎愛宕神社は、高柳の歴史を語る歴史財として後世に残したい。

<住宅地景観>

- ◎冬の高南台や南高柳等は、イルミネーションがきれい。

- ◎高南台のまちづくりが理想に近い。（道路幅も広く、交差場所にカーブミラー設置、車両速度・制限標識等もある、ゴミ集積場所も良い）

- 各家庭に花いっぱい運動を広げたい。（防犯対策にもなる）
- 各家庭に軒先清掃運動を広げたい。

<生活環境>

- ◎高柳駅近くにある駐輪場（4ヶ所）は、シルバーの方々のおかげで整理が出来ている。（平成15年9月26日調査、駐輪台数1576台）
- ◎高柳駅附近のゴミ集積所は、きちんと分別整理されている。
- ゴミのポイ捨てに対し、違反者に罰則を作ることかどうか。
- 調整池は年2回の草刈を行っているが、投げこまれたと思われる自転車・樹木等の大型廃棄物も同時に除去してほしい。
- 松戸市区域内道路に沼南町マークの下水道ふたあり。付近の民家は大型ダンプ等の通行に伴う振動に悩んでいる。

<防犯>

- ◎交番のおまわりさんは少人数ながら、一生懸命地域の巡回をやってくれている。しかし、そのためやむをえないが交番が留守の場合が多い。
- 交番には警察から出ている犯罪の発生種別、場所別等のマップあるので、地区別に大きく展示して、地域防犯活動に役立てたい。
- 警察の巡回には限界があると思うので、地域内を良く見ているおまわりさんと協力体制を確立し、官民共同の防犯対策を講じたい。
- 小・中学生の通学道路を「挨拶道路」とし、通過する人は全て挨拶を交わす活動により、住民と児童・生徒との交流を深め、異人と識別しながら防犯体制を作り上げる活動を、学校・住民、そして警察とで拡大したい。
- 防犯灯の設置（通学路、通勤路の見直し、高柳周辺、調整池の丘側）
- 調整池の出入口フェンス扉にカギが無い。防犯灯もほしい。
- 高柳駅周辺は街灯がなく暗い。

<防災>

- 防災避難場所の表示が少ない。経路を記入した表示を多く設置する。（避難場所としては高柳小、高柳中、沼南高柳高があるが町民の認識が薄い）

<風紀>

- ◎小学校、中学校、高校の先生及びPTA（と思われる）でパトロールが行なわれていることは大変喜ばしい。近隣の住民もぜひ参画し、町ぐるみで青少年の育成に力を注ぎたい。（例：「みんな集まれ柳の木」「おやじの会」「走友会」「高友会」等の各会員並びに「地区社協委員」等の方々の自家用車等に“巡回パトロール中”のステッカーを貼って協力してもらうなど）
- 高柳駅広場周辺が中・高校生のたまり場になっている、また、堂々とタバコを吸っている生徒も見受けられる。（定期的に学校責任者と地域住民がチェックを行う体制を作りたい）

<交通（バス）>

- 子ども・高齢者等、車の運転ができない方々の移動に必要なバスの運行を考慮してほしい。

<交通（道路）>

- ◎小・中学生の登校時安全を守る「高柳交通安全推進隊員」の活動がある。
- 道の側溝の蓋が壊れている。（特に高柳駅周辺）歩道がないところを優先的に設置してほしい。
- 福寿院に通じる道が狭い。
- 松戸市から沼南町に入るところの道路が急に狭くなっており、交通事故が多発している。
- 平成15年3月4日から開通した踏み切りからの道路は、①大型車通行止めなのに通行車あり、道路沿いの家の振動大。②通行車両も多く、スピード出しすぎの車が多く、事故件数も9ヶ月間で20件と非常に危険である。（役場・警察もいろいろと努力はしてくれているが）
- “速度制限30キロ/時”“大型車通行禁止”等の標識並びに道路での表示を早急に行ってほしい。
- 県営住宅前の道は子どもの飛び出しあり。（ミラー設置、歩行者の一時停止、左右確認の表示を道路に行い、あわせて通行指導を実施）
- 人及び自転車（バイク）通行可の踏切の標識が錆びてしまっていて見苦しい。

- 高柳駅近くの（逆井側）踏み切りは道路に比べ、幅が狭く（対向車交互通行）朝・夕の通勤・通学ラッシュ時間は特に危険である。踏み切り幅を広くしてほしい。

- 区内各所の道路に歩道のない場所が多数あり。特に高柳小・中学校付近の道に歩道の設置が早急に望まれる。

- 交差点付近の樹木が繁茂し見通しが悪い箇所がある。パトロール中のおまわりさんから所有者に注意してもらえたらありがたい。

<交通（駐輪）>

- 駐輪場は高柳駅西側にはなく、東口側に集中しているが利用人口は西側の方が多い。また鎌ヶ谷市、松戸市の方々の利用も多数ある。
- 自転車を駐輪場脇の道路に放置していく人も多数見受けられる。利用者のマナーも悪いが、駐輪場の増設も必要である。
- 駐輪場内にゴミを捨てる方が多い。

<健康・保健・福祉>

- ◎老人会（高友会）と高柳小学校4年生との定期的な交流会が行われている。
- ◎高柳コミュニティセンターを利用して、各種の健康体操を教えている。
- ◎“ふれあいサロン”と称し、高柳地区社会福祉協議会主催で、高柳コミュニティセンターにて（隔月）各種イベントや保健師による血圧測定、健康相談、囲碁・将棋など、町民みんなで楽しい時間を過ごしている。町民で知らない人も多いので、積極的な広報により活用人口を増やしたい。
- ◎レントゲンによる健康診断等も行われている。

<教育（学校・社会・生涯教育）>

- ◎みんな集まれ柳の木、走友会（高柳中）、おやじの会（高柳小）、高友会、交通安全推進隊、高柳地区社協等々、ボランティア活動の各組織の活発な活動により、青少年の健全育成が行われている。挨拶のできる子が多く、非常に喜ばしい事である。
- ◎現在話題となっている小・中学校一貫教育のモデル校として高柳小と高柳中になってほしい。
- ◎高柳・六実高校の生徒が通学路の清掃をしている。
- ◎高柳に児童ルームがあるのが素晴らしい。

- ◎現在話題となっている小・中学校一貫教育のモデル校として高柳小と高柳中になってほしい。

- ◎高柳・六実高校の生徒が通学路の清掃をしている。

- ◎高柳に児童ルームがあるのが素晴らしい。

<地場産業（農業・商工業）>

- ◎本地域は、梨・ねぎ・カブの産地である。

<娯楽・レクリエーション>

- ◎稲荷峠2号公園は面積も広く、山林の中には四阿（あずまや）が設置されている。子どもたちのいない時間帯に老人会員がゲートボールの練習に使用しているらしい。屑入れ（2個）は錆が目立っており塗装が必要。
 - ◎高柳南公園には地区内公園で唯一シーソーあり。
 - 高柳南台公園は公園としては、いかにも狭く貧弱すぎる。
 - 蟹打子どもの遊び場の砂場には砂が少ない。また屑入れもなく、管理も余りされておらず荒地模様。
 - ひづめ公園には屑入れがないがゴミは持ち帰りが方針なのか。
 - 高柳下瀬上公園にゴミ集積スペースや倉庫らしきものなど3棟あり、遊戯施設なし、水飲み場がほしい。
 - 高柳新田中峠2号公園の屑入れの錆が目立つので塗装をしてほしい。またスベリ台の降り口が少々危険なため改修をしてほしい。
 - 高柳1818にある公園には砂場に砂がない、スベリ台の錆が目立つ、「守りましょう」の看板も錆びて文字も一部読めない。高柳地区で最もさびれた公園と感じた。住宅地増設に関する法律（義務事項）なのか？増設許可を取得する為だけの様な公園（空地）では実質的な効果はないと思う。
 - ひづめ公園の公園名称の由来を知りたい。
 - 総合的に緑と水の豊富な町民いこいの場所づくりを早急に考えてほしい。
 - ペット（犬）が自由に走り回れる様な柵付きフリーゾーンがほしい。（1回20～30円位の有料施設でも良い）
- #### <コミュニティ>
- ◎“高柳祭り”は2千人以上の人々が参加するお祭りで、盆踊りやおみくじ、フリーマーケット等が大好評を得ている。



高柳駅近く（逆井側）の踏み切りは道路に比べ、幅が狭い。

- ◎高柳コミュニティセンターは、高柳にとって良いところ。
 - ◎中島込自治会では環境整備を全家庭参加で行うことにより一体感が生まれた。
 - ◎各活動団体の責任者が、同一のテーマで話し合い。各団体がそのことについてできる行動を一つずつ実践する体制をつくっていききたい。
 - ◎全員挨拶運動を進めたい。防犯、窃盗、痴漢が発生しにくい土壌は住民の連帯意識と円滑なコミュニケーションから醸成される。
 - ◎公共施設、公道等のクリーン作戦を展開したい。
 - ◎散歩・水やりを通学時刻にあわせる。住民が個人的に社会参画して、世に役立つ事は長生きの秘訣である。多くの目で、通学児童を守ってやりたい。
 - ◎花いっぱい運動：近隣者と共通の話題を持ち、ともに協力しながら地域を花一杯にする事でコミュニケーションと地域の一体感を作りあげることとなる。人間味あふれる生活と防犯が可能になる。
 - ◎交通安全運動を展開したい。
 - ◎年少者、高齢者、身障者等にやさしい運動を展開し、住みよいまちづくりを行いたい。
 - 住民同士、各種団体同士の横の連携があまりなされていなかった様に感じる。（行政・警察・社会福祉の会、各ボランティア、老人会が共通課題について協議できる体制を作っていく）
- #### <その他>
- ◎中島込に案内板があり、わかりやすい。
 - ◎東映団地に案内板があり、わかりやすい。
 - 市境の標識があると良い。
 - 高柳駅前に地区案内板があったらよい。
 - 雨天時における高柳駅広場での送迎車ラッシュに関し良い解決方法はないものか。（名案募集）



福寿院の絵馬

＜高柳西小学校区＞

ワークショップで明らかになった高柳西小学校区における「主な現状と課題」は、次のとおりです。

①自然環境



- ・残存する雑木林の良好な管理を進めるとともに、雑木林の有効活用を図りたい。



雑木林の有効活用を図りたい！

③住宅地景観



- ・しいの木台は美しい住宅地。ガーデニングなどを通じてもっと磨きをかけてみては。また、美しい街並みだからこそ、まちなかの緑化や生垣化を進める必要があるのでは。



ガーデニング

⑥交通



- ・狭い道路の解消とともに、通学路を主体に通行危険個所の改善を図ってほしい。
- ・交通標識の点検・再整備を進めてほしい。

②歴史文化



- ・馬にゆかりのある土地柄について学ぶ機会をつくっては。また教会との交流を深めることを考えては。



馬のひづめの表札

④生活環境



- ・空き地は防犯や防災上も問題なので管理の徹底を図りたい。プラスチック工場の排気・悪臭の改善を図りたい。また大雨時の床下浸水対策はまだ不十分。支所機能が近くにほしい。

⑤防犯・防災



- ・小学校と連携して防犯体制の強化を図りたい。
- ・避難誘導標識の再整備を進めてほしい。防災の観点からも空き地の管理の徹底を関係者に要請する。

⑦娯楽・レクリエーション



- ・公園の管理は住民の手で行うことを考えたい。



公園を住民管理に！

⑨健康・保健・福祉



- ・ケアセンターと連携して地域の福祉力の向上を図るようにしたい。

⑪コミュニティ



- ・コミュニティ活動は活発だが、もっと新旧住民の交流の機会を増やす必要がある。



しいの木台まつり

⑧教育（学校・社会・生涯教育）



- ・好評の児童と高齢者とが、ふれあう機会をもっと増やしたい。PTAの結成を呼び掛けては。



朝のラジオ体操

⑩地場産業（農業・商工業）



- ・地元の商店をPRし、住み心地が良く、賑わいのある町にしたい。



なごみの米やさん

高柳西小学校区の「主な現状と課題」の内、特定の場所に係わるコメントを地図上に記載したものが（図2-4-2）に示す「地域診断カルテ（マップ編）」です。またコメントを分野別に整理したものが（表2-4-2）に示す「地域診断カルテ（コメント編）」です。

高柳西小

しいの木台は高級住宅展示場！（かわら屋根の家、モダンな住宅、レンガの壁が美しい家、アルミ製住宅等の個性的な住宅あり）

町のHPにある環境家計簿は環境に対する教育啓発になる。

5丁目の住宅には太陽光発電器がついている。

「なごみの米屋」は地区唯一の菓子店。

「ヤクルトセンター」ではフリーマーケットを開催、交流の場となっている。

地区の喫茶店。

おしゃれな理容店&美容室。

整骨院の評判がよく行列が出来ている。

しいの木台唯一のスーパーあり。

しいの木通りに少しづつ店舗ができつつある。

地図を作成したい。（了解を求める必要あり）

4丁目29（一二四町会）で大雨時床下浸水の被害を受けた。その後対策は講じられたがまだ不十分。

住民が利用したい雑木林

見事なゴミステーションを発見、使い方を見習いたい。

生垣のきれいな住宅

駐車場区域内の道路沿いを緑化してほしい。（行政に指導を要望）

アパート脇の土地を緑化してほしい。（行政に指導を要望）

改善が必要な通学路標識

将来の道路用地で現在町の資材置き場となっているところのフェンスは無料。

危険な交差点

玄関先に華やかな植物がいっぱい。

オープンガーデニング（見学のため開放もいいかな？）英国のガーデニングを見習いたい。

グリーンベルト（50m道路）は見通しと日当たりが良く、フェンス脇に花壇が設置してある。

フラワーロードの植物は老人会で管理。（老人会をもっと利用したい）

定期バスが増発されたが五香駅行のみなのが残念。

しいの木公園で毎朝ラジオ体操を開催しているが地区外からも参加あり。

トイレ脇の自販機にゴミが散乱している。（しいの木公園）

公園の子どもの遊び場、親子連れで遊べる。

しいの木公園テニスコートの利用を促進したい。

東電に移設を要望したい電柱。

小学校前の畑は児童のためにとても良いと思う。

避難案内の標識が消えかかっている。

しいの木台区夏祭り（区で体制有り）8月第3日曜（ゴチャレン、よさこいソーラン、カラオケ大会、模擬店、フリーマーケット等）、しかし片付けの手伝いが少ない。

注意を標

車がすこ

にほしい。（平成15年要望済み）

（調査をした結果、現状に支障ないと判明）

平成13年12月頃に役

通学路の標識が一部分にしかない。

境道は暗い道で車の量が多い。

柏との境道には危険な交差点がある。

交通量に対して道幅が狭く、事故が起りやすい。

交差点のところが抜け道になっているので交通量が多い。

高柳駅への交通が不便。

公園開発で一部の区域（4-29～32、50～53）が袋小路になったため不便かつ危険が増大。

高柳西小学校区

平成16年3月31日現在

地図の色

- ・・・良いところ
- ・・・悪いところ
- ・・・公共施設

主要幹線
公園・緑地
小学校区境

小学校と高齢者との交流（文化祭）が好評。

新旧住民との交流・親交が課題。

住民同士が集まって地区の問題を話し合う場がない。

しいの木台は高級住宅展示場！（かわら屋根の家、モダンな住宅、レンガの壁が美しい家、アルミ製住宅等の個性的な住宅あり）

町のHPにある環境家計簿は環境に対する教育・啓発になる。

5丁目の住宅には太陽光発電器がついている。

「なごみの米屋」は地区唯一の菓子店。

「ヤクルトセンター」ではフリーマーケットを開催、交流の場となっている。

地区の喫茶店。

おしゃれな理容店＆美容室。

整骨院の評判がよく行列が出来ている。

しいの木台唯一のスーパーあり。

しいの木通りに少しづつ店舗ができつつある。

地図を作成したい。（了解を求める必要あり）

4丁目29（一二四町会）で大雨時床下浸水の被害を受けた。その後対策は講じられたがまだ不十分。

住民が利用したい雑木林

見事なゴミステーションを発見、使い方を学習したい。

生垣のきれいな住宅

駐車場区域内の道路沿いを緑化してほしい。（行政に指導を要望）

アパート脇の土地を緑化してほしい。（行政に指導を要望）

改善が必要な通学路標識

将来の道路用地で現在町の資材置場となっているところのフェンスは無粋。

危険な交差点

玄関先に華やかな植物がいっぱい。

オープンガーデニング（見学のため開放もいいかな？）英国のガーデニングを見習いたい。

グリーンベルト（50m道路）は見通しと日当たりが良く、フェンス脇に花壇が設置してある。

フラワーロードの植物は老人会で管理。（老人会をもっと利用したい）

高柳西小学校と一緒に犯罪マップを作りたい。
中学区で「みんな集まれ柳の木！」組織あり（子どもから老人まで）、HPあり。（ゴミ拾い、ネイチャーゲーム、カルチャーの集い、異国人との交流）。

危険な交差点

保育所は増設されている。（30人増）

現在移動していないので地区住民に開放してほしい。（公園管理事務所へ要請）

教会を発見！教会に交流の呼びかけをしてみよう。

5丁目の住宅地の門標には馬のひづめのモニュメントがある。（「災いをけとばす」という意味があるらしい）

住民に開放してほしい晴山幼稚園の森。

住宅地に林檎の木がある。

住宅地に菊の鉢がたくさんあった。

晴山幼稚園そばの雑木林を自然のままで活用したい！（地権者に働きかけが必要）

しいの木台会館のふれあいサロンには、そよ風ケアセンターが協力してくれている。

しいの木台会館

高柳西小学校

高柳西保育所

晴山幼稚園

定期バスが増発されたが五香駅行のみなのが残念。

しいの木公園で毎朝ラジオ体操を開催しているが地区外からも参加あり。

トイレ脇の自販機にゴミが散乱している。（しいの木公園）

公園の子どもの遊び場、親子連れで遊べる。

しいの木公園テニスコートの利用を促進したい。

東電に移設を要望したい電柱。

小学校前の畑は児童のためにとても良いと思う。

避難案内の標識が消えかかっている。

しいの木台区夏祭り（区で体制有り）8月第3日曜（ゴチャラン、よさこいソーラン、カラオケ大会、模擬店、フリーマーケット等）、しかし片付けの手伝いが少ない。

しいの木通りには電柱が見当たらない。

公園そばの道路は子どものとびだしの注意を標識で喚起したい。

しいの木通りには通り名の標識あり。

クリスマスシーズンはイルミネーションがすごい！

プラスチック工場の排気・悪臭が問題。ダイオキシンも心配。（既に町へ改善を要請中）

子どものたまり場「こども110番」の標識がある。（この辺では唯一）

地区の公園の管理を住民主導で管理にしたい。（老人会などを活用）

ケアセンターは町の介護支援センターにもなっている。

支所機能が近くにほしい。（平成15年8月の公聴会で要望済み）

消防署がない。（調査をした結果、現状の体制で消火活動に支障ないと判明）

交番がない。（平成13年12月頃に役場と警察に要望）

通学路の標識が一部分にしかない。

境道は暗い道で車の量が多い。

柏との境道には危険な交差点がある。

交通量に対して道幅が狭く、事故が起りやすい。

交差点のところが抜け道になっているので交通量が多い。

高柳駅への交通が不便。

公園開発で一部の区域（4-29～32、50～53）が袋小路になったため不便かつ危険が増大。

表2-4-2 高柳西小学校区の地域診断カルテ（コメント編）

凡例◎：良いところ（保全・活用・強調したい） ●：悪いところ（改善・除去したい）

＜自然環境＞

- ◎晴山幼稚園そばの雑木林を地権者に働きかけ、自然のままで活用したい！
- ◎良く管理された森や林の地権者に感謝状を出す。

＜歴史文化＞

- ◎教会を発見！教会に交流の呼掛けをしてみよう。
- ◎5丁目の住宅地の門標には馬のひづめのモニュメントがある（「災いをけとばす」という意味があるらしい）。

＜住宅地景観＞

- ◎住宅地に林檎（リンゴ）の木がある。
- ◎住宅地に菊の鉢がたくさんあった。
- ◎庭木の柳が美しい。
- ◎住宅の庭木が美しい。
- ◎玄関先に華やかな植物がいっぱい。
- ◎グリーンベルト（50m道路）は見通しと日当たりが良く、フェンス脇に花壇が設置してある。
- ◎見事なゴミステーションを発見、使い方を見習いたい。
- ◎5丁目の住宅には太陽光発電器がついている。
- ◎クリスマスシーズンは、イルミネーションがすごい！
- ◎しいの木通りには電柱が見当たらない。
- ◎しいの木台は高級住宅展示場！（かわら屋根の家、モダンな住宅、レンガの壁が美しい家、アルミ製住宅等、個性的な住宅が多い）
- ◎オープンガーデニング（見学のため開放もいかな？）英国のガーデニングを見習いたい。
- アパート脇の土地を緑化してほしい。
- 住宅の境界をブロック塀から生垣に変えてほしい。
- 駐車場区域内の道路沿いを緑化してほしい。

＜生活環境＞

- ◎町のホームページにある環境家計簿は、環境に対する教育や啓発になる。
- ◎しいの木通りには通り名の標識あり。
- ◎新栄町会はパーベキュー等のレクリエーションを兼ねて交流をしている。恒例化をめざしたい。
- 支所機能が近くにほしい。（既に公聴会で要望済み）

- プラスチック工場の排気・悪臭が問題。ダイオキシンも心配。（既に町へ改善を要請中）
- 使用していないゴミステーションにごみが放置されている。（町会の集まりが少ない。集まれば解決可）
- しいの木公園のトイレ脇の自販機には、ゴミが散乱している。
- 宅地造成したが売れずにいる空き地が問題化している。
- 4丁目29（一二四町会）では大雨時に床下浸水の被害を受けた。その後対策は講じられたがまだ不十分。
- 将来の道路用地で現在町の資材置場となっているところのフェンスを修復してほしい。

＜防犯＞

- ◎子どものたまり場「こども110番」の標識がある。（この辺では唯一）
- 高柳西小学校と一緒に犯罪マップを作りたい。
- 交番がない。（平成13年12月頃に役場と警察に要望）

＜防災＞

- 避難案内の標識が消えかかっている。
- 空き地の雑草は防災上問題がある。
- 消防署がない。（調査をした結果、現状の体制で消火活動に支障ないと判明）

＜交通＞

- ◎定期バスが増発されたが五香駅行のみののが残念。
- 交差点のところが抜け道になっているので、交通量が多い。
- 境道は暗い道で車の量が多い。
- 交通量に対して道幅が狭く、事故が起こりやすい。
- 柏との境道には危険な交差点がある。
- 公団開発で一部の区域（4-29～32、50～53）が袋小路になったため不便かつ危険が増大。
- 標識が道路に並行していて運転手からは見にくいので標識の方向の変更を。
- 通学路の標識が一部分にしかない。
- 公園そばの道路は子どもの飛び出し注意を標識で喚起したい。
- 学校脇のT字路は標識が壊れている。
- 高柳駅への交通が不便。

<娯楽・レクリエーション>

- ◎公園の子どもの遊び場は親子連れで遊べる。
- 藤棚とベンチの管理を住民主導でやりたい。
- 老人会などを活用し、地区の公園の管理を住民主導で管理にしたい。
- 未利用の公園開発用地を地区住民に開放してほしい。

- しいの木公園テニスコートの利用を促進したい。

<教育（学校・社会・生涯教育）>

- ◎小学校前の畑は、児童のためにとても良いと思う。
- ◎文化祭は、小学校と高齢者との交流の場として大好評を博している。
- 高柳西小学校には、5・6年生の保護者による協力会しかないが、子供の安全確保などの観点からPTAの結成を働きかける。

<健康・保健・福祉>

- ◎ケアセンターは、町の住宅介護支援センターにもなっている。
 - ◎しいの木会館のふれあいサロンには、ケアセンターが協力してくれている。
 - ◎保育所は増設されている（30人増）。
- <地域産業（農業・商工業）>
- ◎しいの木通りに少しずつ店舗ができつつある。
 - ◎「なごみの米屋」は地区唯一の菓子店。
 - ◎整骨院の評判がよく行列が出来ている。
 - ◎おしゃれな理容店&美容室あり。



あふれ出たごみ

- ◎しいの木台唯一のスーパーあり。
- ◎商店の協力を得て地図を作成したい。

<コミュニティ>

- ◎しいの木公園で毎朝ラジオ体操を開催しているが地区外からも参加あり。
- ◎フラワーロードの植物は老人会で管理。（老人会をもっと活用したい）
- ◎地域の祭りとして、子どもから老人までが参加できる盆踊り（7月末の土日）が恒例化している。しかし、区の支援体制が必要。
- ◎中学校区にある「みんな集まれ柳の木」は、ゴミ拾い、ネイチャーゲーム、カルチャーの集い、異国人との交流など、子どもから老人まで参加するいろいろな活動をしている。ホームページもあり。
- ◎しいの木台地区夏祭り（8月第3日曜日開催、ゴチャレンやよさこいソーランなどの踊り、カラオケ大会、模擬店、フリーマーケット等）が開催されている。しかし片付けの手伝いが少ない。
- ◎「ヤクルトセンター」では、フリーマーケットを開催しており、交流の場となっている。
- 新旧住民との交流・親交が課題である。
- 住民同士が集まって地区の問題を話し合う場がない。

<その他>

- 町の広報紙の新聞折り込みは、コストがかかって無駄に感じる。



標識が壊れているT字路

（２）高柳地域行動計画

<高柳小学校区>

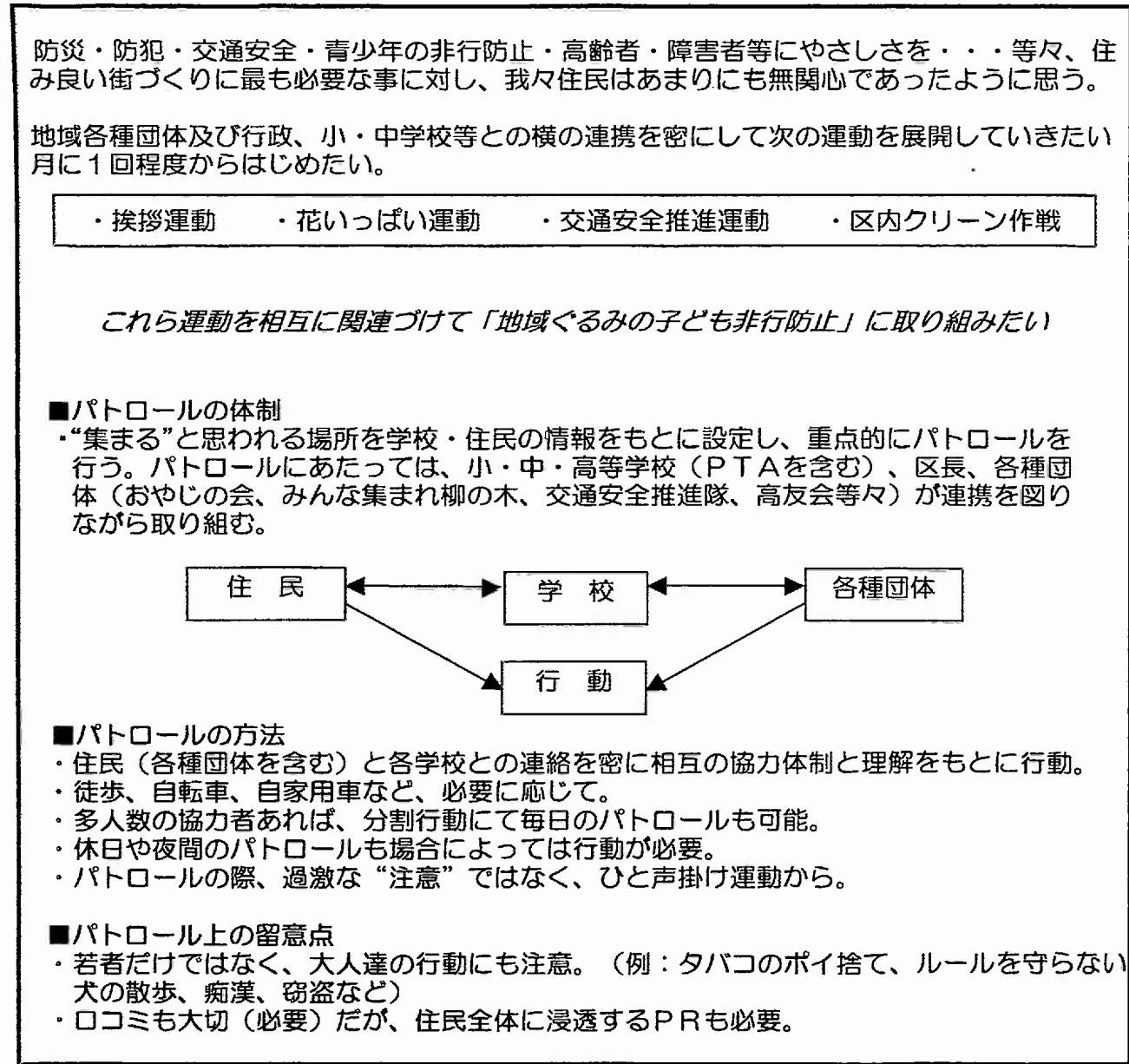
「高柳小学校区の地域診断カルテ」をもとに話し合われた「地域の要望や提案」を整理すると、（表2-4-3）のようになります。ここでは、「地域の要望や提案」を、住民が主体的に取り組む事業、行政と住民が協働で取り組む事業、行政に要請して進める事業の3つに整理しています。

表2-4-3 高柳小学校区の要望や提案

●住民が主体的に取り組む事業	<p>①地域ぐるみで子どもの非行を防止しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中・高校生等、若者の非行防止に住民全てが関心を持ち、早急に行動を開始したい。 （その行動の取り組み方については、図2-4-3の「行動計画（住民主体でこんなことから取り組んでみよう）」参照） <p>②ふるさとの川を美しくしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川浄化に積極的に取り組んでいる団体（EMカワセミの会）もあるので、住民全員が協力する体制を作りたい。 <p>③公園の自主管理を進めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園内樹木の刈り込みや遊具の塗装等は行政に依頼するも、園内の雑草駆除、花壇づくり（維持管理）清掃等は住民の自主管理で行いたい。
●住民と行政が協働で取り組む事業	<p>①区内には公園が数箇所あるが、法律上許可を得るためだけの空間作りの感もある。今後の開発造成については、住民の意見も取り入れるべきだと思う。（過激な要望でなく常識の範囲で）</p>
●行政に要請して進める事業	<p>①大津川沿いに遊歩道を作り（自転車乗り入れ不可）住民の憩いの場にしたい。</p> <p>②歴史文化財に説明看板を取り付ける。（現在もあるところあり）</p> <p>③東京都等ではタバコのポイ捨てに罰則もあるが、その前に道路脇空き地に粗大ゴミを捨てていく（不法投棄）に対しての罰則は必要。</p> <p>④平成15年3月から開通した踏切付近の道路での交通事故防止対策が問題となっているが、国道・県道を除き、町道と言われる生活密着道路においては速度制限表示のあるところと、ないところがある。また歩道のない場所も多いことから、特に小・中学生の通学路に歩道がほしい。</p> <p>⑤高柳駅（逆井側）踏切幅が狭い。住民から東武鉄道に要望し、何とか対向車交差点通行を解消したい。</p> <p>⑥東武高柳駅西側に駐輪場がほしい。</p> <p>⑦現在話題となっている小・中学校一貫教育のモデル校として高柳小学校と高柳中学校がなってほしい。</p>

「地域の要望や提案」にある「住民が主体的に取り組む事業」について具体的にどう取り組むかを明らかにしたのが、（図2-4-3）に示す「行動計画（住民主体でまずこんなことから取り組んでみよう）」です。

図2-4-3 行動計画（住民主体でこんなことから取り組んでみよう）



<高柳西小学校区>

「高柳西小学校区の地域診断カルテ」をもとに話し合われた「地域の要望や提案」を整理すると、（表2-4-4）のようになります。ここでは、「地域の要望や提案」を、住民が主体的に取り組む事業、行政と住民が協働で取り組む事業、行政に要請して進める事業、行政・東京電力に要請して進める事業、公団に要請して進める事業の5つに整理をしています。

表2-4-4 高柳西小学校区の要望や提案

●住民が主体的に取り組む事業	①安全・安心なまちにする。 ②住民相互の交流をもっと深める。 ③もっと街並みをきれいにしよう。 ④暮らしやすいまち、賑わいのあるまちにする。 ⑤環境への関心を高める。 ⑥ふるさとの歴史文化への関心を高める。 （詳細は、図2-4-4「行動計画（住民主体でこんなところからはじめてみよう）」参照）
●住民と行政との協働で取り組む事業	①晴山幼稚園に隣接する雑木林の活用を地権者に働きかける。 ②そよ風ケアセンターとの連携により地域の福祉力の向上を図る。
●行政に要請して進める	①良好な雑木林管理者の顕彰制度を設ける。 ②避難路・避難場所の案内表示の再整備を図る。 ③実態にあわせ、交通安全標識を整備するとともに、新規にも整備する。 ④支所機能の整備を推進する。 ⑤床下浸水防止のための雨水対策を推進する。 ⑥プラスチック工場の悪臭や排気が健康を害しているし、ダイオキシンの心配もあることから環境改善対策の推進を働きかける。 ⑦しいの木公園テニスコートの利用促進を図る。 ⑧町の広報紙の新聞折込みの見直しを検討する。
●行政・東京電力に要請して進める事業	①狭い道路の拡幅を推進する。特にしいの木通り交差点（高柳西小学校入口交差点の幼稚園側鉄塔下の電柱が大きな障害）の改善を働きかける。

「地域の要望や提案」にある「住民が主体的に取り組む事業」について、具体的にどう取り組むかを明らかにしたのが、（図2-4-4）に示す「行動計画（住民主体でこんなことから取り組んでみよう）」です。

図2-4-4 行動計画（住民主体でこんなところから取り組んでみよう）

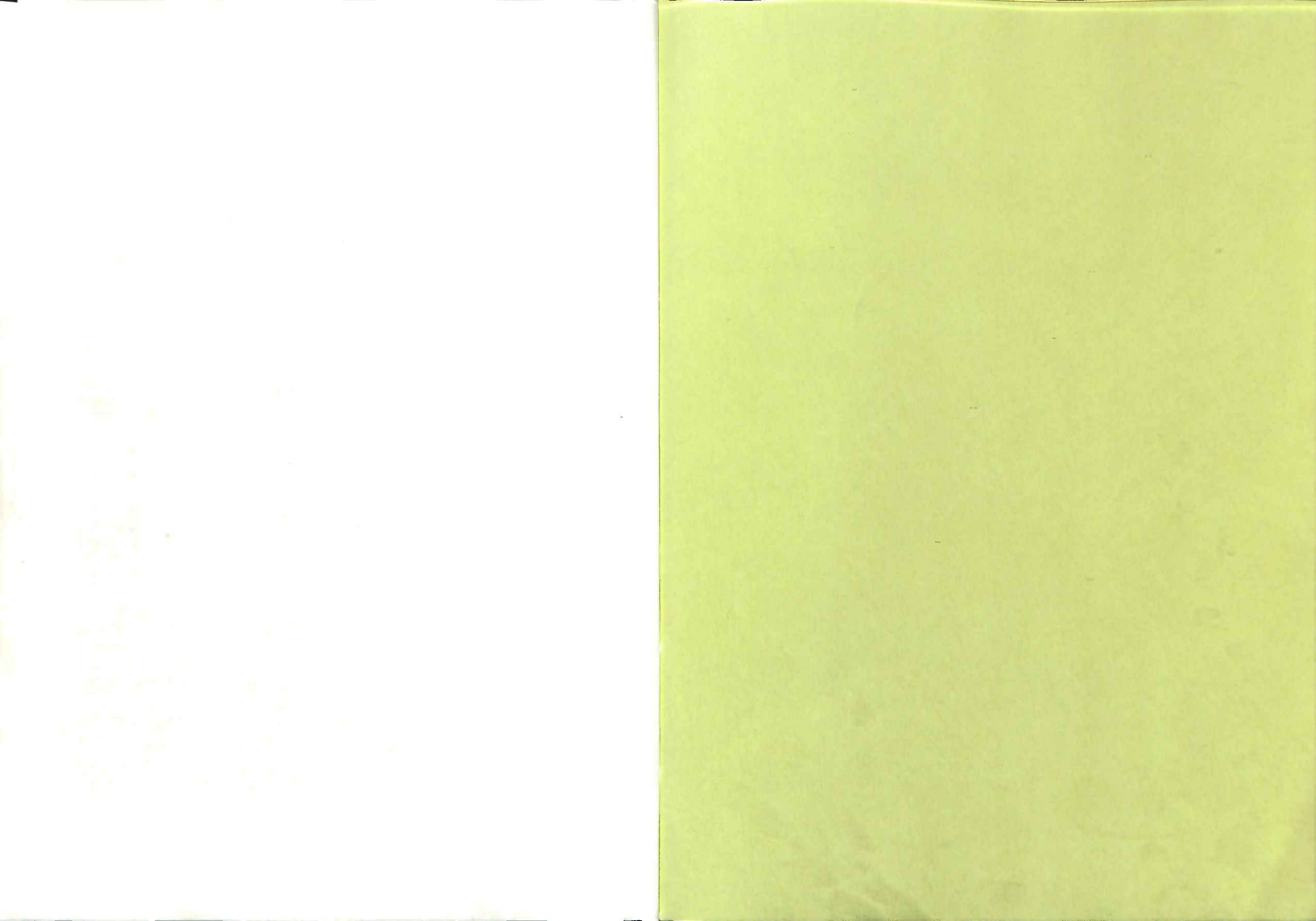
①安全・安心なまちにしよう	<ul style="list-style-type: none">・通学路で子どもへの“いってらっしゃい・おかえりなさい”の声かけ運動を推進する。・高柳西小学校と一体となって危ない（犯罪）マップを作成する。・身近な公園の自主管理を推進する。・子どもの安全確保などの観点からもPTAの結成を働きかける。・空き地の管理の徹底を地主に要請する。
②住民相互の交流をもっと深めよう	<ul style="list-style-type: none">・高柳西小学校が取り組む公園清掃を一緒にやる等、子どもと高齢者のふれあう機会を拡大する。・夏祭りなどの機会を通じて新旧住民の交流の機会拡充を図る。・夏祭りなどの機会を通じて教会を介した国際交流を推進する。
③もっと街並みをきれいにしよう	<ul style="list-style-type: none">・地区ぐるみで花いっぱい運動を推進する。・各家庭におけるガーデニングの普及・啓発を図る。
④暮らしやすいまち、賑わいのあるまちにしよう	<ul style="list-style-type: none">・商店などの協力を得て、しいの木台タウンマップを作成する。
⑤環境への関心を高めよう	<ul style="list-style-type: none">・地域学習会などを通じて、街ぐるみで環境家計簿の普及に取り組む。
⑥ふるさとの歴史文化への関心を高めよう	<ul style="list-style-type: none">・住んでいる土地の歴史や文化への関心を深めるため“馬”に関する調査を実施する。

地域診断カルテ参加者

手賀地域							
1		11		21		31	
2		12		22		32	
3		13		23		33	
4		14		24		34	
5		15		25		35	
6		16		26		36	
7		17		27		37	
8		18		28			
9		19		29			
10		20		30			

大津ヶ丘地域				風早地域			
1		14		1		14	
2		15		2		15	
3		16		3		16	
4		17		4		17	
5		18		5		18	
6		19		6		19	
7		20		7		20	
8		21		8		21	
9		22		9		22	
10		23		10		23	
11		24		11		24	
12		25		12		25	
13		26		13			

高柳地域							
1		7		13		19	
2		8		14		20	
3		9		15		21	
4		10		16		22	
5		11		17		23	
6		12		18		24	



沼南町地域診断カルテづくり報告書

発行日：平成 17 年 3 月

発行：沼南町 総務部ネットワークまちづくり課

〒277-8503

千葉県東葛飾郡沼南町大島田48-1

電話：04-7191-1111

制作協力：特定非営利活動法人 日本環境倶楽部

